

令和5年版

消防年報

第68号

瀬戸市消防本部

はじめに

この年報は、瀬戸市消防本部における消防力の現状と、令和5年4月1日現在における各種統計を、今後の消防行政の効率的な運営と消防力の強化に資するとともに、消防事情を一般に紹介することを目的に収録いたしました。

消防・防災関係機関の皆様はもとより、広くあらゆる方面でご活用いただき、消防行政により一層のご理解とご協力をいただければ幸いに存じます。

令和5年7月

瀬戸市消防本部

市 勢 概 要

瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちで、「せともの（瀬戸物）」という言葉が、やきものの代名詞として広く知られています。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

長年受け継がれてきたやきものづくりの卓越した技は、多種多様なやきものづくりに繋がり、陶器と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、ノベルティ（置物・装飾品）、ファインセラミックスなどが生産され、今も新しいものづくりが続けられています。

年別	項目	変 遷	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯
昭和 4年		市制施行	28.01	31,276	6,916
昭和26年		水野村合併	50.67	54,779	11,670
昭和30年		幡山村合併	71.36	64,681	13,588
昭和34年		品野町合併	110.34	79,449	16,636
令和 5年		4月1日現在	111.40	127,882	57,920







一 目 統 計

令和5年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(R4年中) P51
				
	111.40 km ²	127,882 人	57,920 世帯	年間平均気温 16.2℃ 年間平均湿度 67.7 % 年間降水量 1,482 mm

消 防 予 算 構 成 人 員	消防予算 P1	施設数 P5	職員数 P6	団員数 P7
				
	14億4,139万0千円 市民1人当たり11,271円	消防本部 } 1 消防署 } 分署 } 2	139人 (内女性2人)	241人 (内女性分団員22名)

消 防 車 両 水 利	ポンプ車等 P5	特殊車両等 P5	救急車 P5	水利 P16
				
	水槽付きポンプ車3台 ポンプ車4台	はしご車等14台	高規格救急車5台	消火栓 2,950基 防火水槽等 569基 (その他の水利を含む)

災 害 件 数 (令和4年中)	火災 P29	主な火災原因 P30	救急 P38・44	救助 P46・47
				
	23件 出火率1.8件/万人	放火・放火の疑い 2件 たばこ 2件	出動件数 6,216件 (17.0件/日) 搬送人員 5,741人 現場到着時間 7.4分	出動件数92件 救助人員50人

予 防 消防関係団体	防火対象物 P17	危険物施設 P20	査察実施率 P22	消防関係団体 P24-27
				瀬戸防火防災協会連合会 20連区 危険物安全協会 291会員 自衛消防連絡協議会 18隊 自警団 5団
	4,297件	製造所 3件 貯蔵所 197件 取扱所 97件	16.8%	女性(婦人)防火クラブ 7クラブ 少年消防クラブ 25クラブ 防災会 2会

令和4年度のトピックス

1 インスタグラム始めました！

瀬戸市消防本部の魅力発信のため、令和4年からインスタグラムを始めました。

各訓練の様子、職員の紹介、イベント情報など瀬戸市消防本部の「あれこれ」を投稿していきますので、ぜひQRコードを読み込んでみてください。



2 深川連区が1,000日無火災達成

深川連区が令和4年度中に1,000日間無火災を達成し、市長から特別感謝状が贈呈されました。



3 防火防災アカデミー開催

火を取り扱う機会が少なくなった小学生を対象に、火の原理について学ぶことを目的として「防火防災アカデミー」を瀬戸市危険物安全協会と共催しました。

講師による防火セミナーや実験ブース・水消火器ブース・火起こし体験ブースなどを行い、「火の便利さ・怖さ」、「正しい火の使用方法」等を多くの小学生に伝えることができました。



4 瀬戸市消防団公式キャラクター就任

令和元年に、瀬戸市消防団応援サポーターで瀬戸市出身の漫画家としてもご活躍中の中島みるく先生ご協力の下、2人の消防団員のキャラクターが誕生しました。

今年度、先生に名前を付けていただいたことで瀬戸市消防団のイメージキャラクターに就任しました。

今後は、消防団公式SNS等を通して活躍を予定しています。



おりべくん

きせとちゃん

SETOSHOBODAN

目 次

【第1編】消防情勢（P1～10）

・5年間の市当初予算等と消防費	1
・令和5年度一般会計当初予算額	1
・令和5年度消防費の市民負担額	1
・消防本部・消防署・消防団組織図	2
・消防本部の事務分掌	3
・消防署の事務分掌	4
・消防力の整備指針と現有消防力	5
・消防職員数	6
・消防団員数	7
・消防職員・団員数の推移	7
・消防職員・団員の平均年齢の推移	7
・消防職員派遣教養科目別実施状況	8
・消防職員研修実施状況	8
・消防職員・団員公務災害等発生状況	8
・消防本部車両運用状況	9
・消防団活動状況	10

【第2編】消防施設（P11～16）

・消防庁舎等設置状況	11
・消防車両等配備状況	12・13
・主な消防機器保有状況	14
・水防用資機材備蓄状況	15
・消防水利設置状況	16

【第3編】予防（P17～28）

・連区別防火対象物数	17
・階別防火対象物数	18
・防火管理者選任状況・防火管理講習実施状況	19
・連区別危険物施設等施設数・危険物施設に関する申請等の件数	20
・危険物施設等施設数の10年間の推移	21
・防火対象物の査察実施率の推移	22
・火災予防査察計画における防火対象物の査察対象物及び査察周期	22
・危険物施設の査察実施状況	23
・火災予防査察計画における危険物施設の査察対象物及び査察周期	23
・瀬戸防火防災協会連合会	24
・街頭消火器設置整備事業	24
・瀬戸市危険物安全協会	25
・瀬戸市自衛消防連絡協議会	25
・自警団	25
・瀬戸市女性防火クラブ協議会	26
・瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会	26
・瀬戸市幼年消防クラブ	27
・防災会	27
・安心・安全トピックス（わんわん消防隊、救急安心たまご）	28

【第4編】火災統計（P 29～37）

・令和4年中の火災発生状況と前年との比較	29
・原因別・用途別火災状況	30
・初期消火実施状況	30
・出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数	31
・署所別・連区別火災状況	32
・曜日別・月別火災状況	33
・天候別火災状況	33
・時間別火災状況	34
・10年間の火災状況	35
・10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移	35
・10年間の住宅火災の状況	36
・10年間の住宅火災における出火原因別件数	36
・10年間の住宅火災における時間別死傷者数	37
・10年間の住宅火災における年齢別死傷者数	37

【第5編】救急・救助統計（P 38～47）

・事故種別救急出動件数及び搬送人員	38
・署所別救急出動件数	39
・連区別の老年人口率と救急搬送率	39
・曜日別・月別救急出動件数	40
・時間別救急出動件数	40
・傷病程度別搬送人員	41
・年齢区分別搬送人員	41
・急病にかかる疾病分類別搬送人員	42
・事故種別医療機関別搬送人員	42
・救急隊員が行った応急処置状況	43
・応急手当普及啓発実施状況	43
・救命率の推移	44
・バイスタンダーCPR実施状況	44
・AEDステーション認定事業所数	44
・10年間の現場到着平均所要時間の推移	44
・10年間の救急出動件数	45
・急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移	45
・事故別救助出動状況	46
・連区別救助出動件数	46
・発生場所別救助人員	47
・10年間の救助出動件数	47

【第6編】通信・気象（P 48～51）

・消防指令センターの主な施設状況	48
・月別119番受信状況（受信時の種別）	48
・無線施設状況	49・50
・月別気象状況	51
・天候別日数・月別気温状況・月別湿度状況	51

【第7編】資料（P 52～57）

・消防本部の沿革	52～57
・消防相互応援協定	57

第1編

消防情勢

5 年間の市当初予算等と消防費

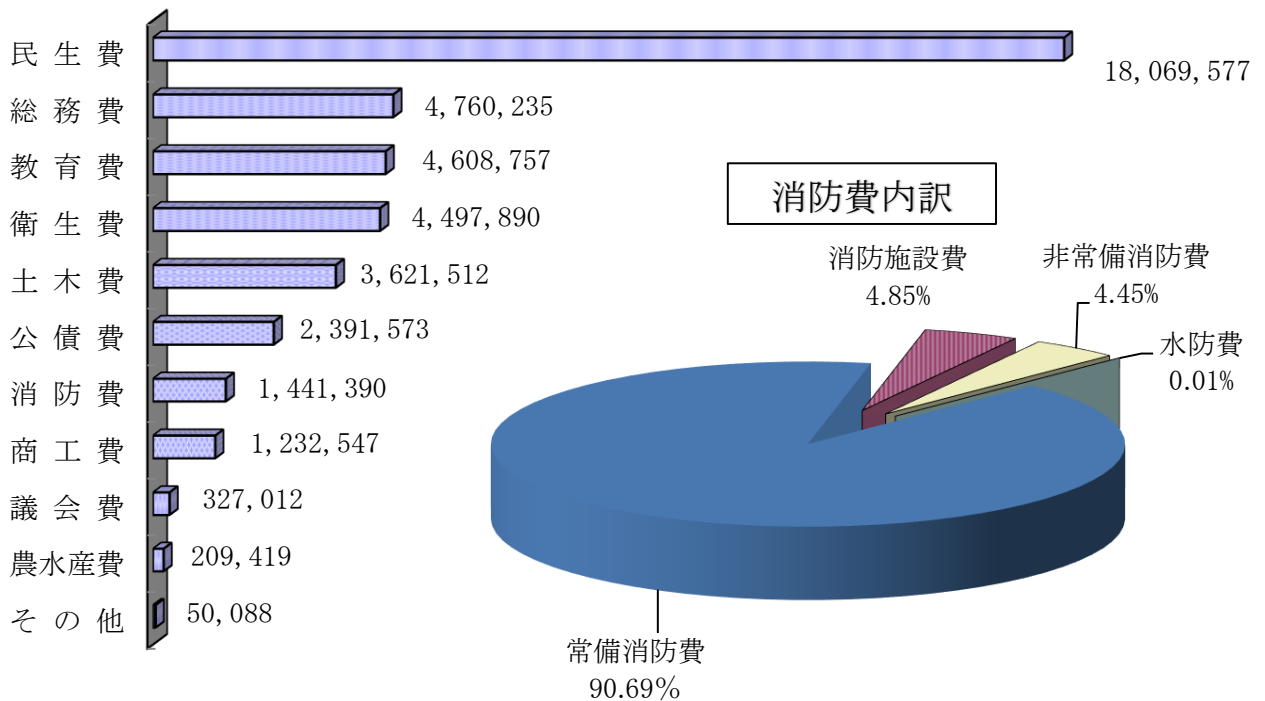
(単位：千円)

区分 年度	市一般会計	消 防 費	消 防 費 内 訳				一般 会計 との 比率 (%)	消防費基準 財政需要額	消防費と 消防費基 準財政需 要額との 比 較 (%)
			常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費			
H30	38,440,000	1,269,770	1,118,810	53,142	97,728	90	3.3	1,455,304	87.3
R1	41,740,000	1,245,167	1,142,742	61,098	41,237	90	3.0	1,453,847	85.6
R2	38,740,000	1,427,847	1,204,812	55,571	167,374	90	3.7	1,463,771	97.5
R3	39,020,000	1,904,428	1,554,825	59,871	289,642	90	4.9	1,490,089	127.8
R4	40,160,000	1,313,400	1,189,027	54,886	69,397	90	3.3	1,454,911	90.3

令和 5 年度一般会計当初予算額

(単位：千円)

区分 年度	市一般会計	消 防 費	消 防 費 内 訳				一般会計 との比率 (%)
			常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	
R5	41,210,000	1,441,390	1,307,266	64,147	69,880	97	3.5

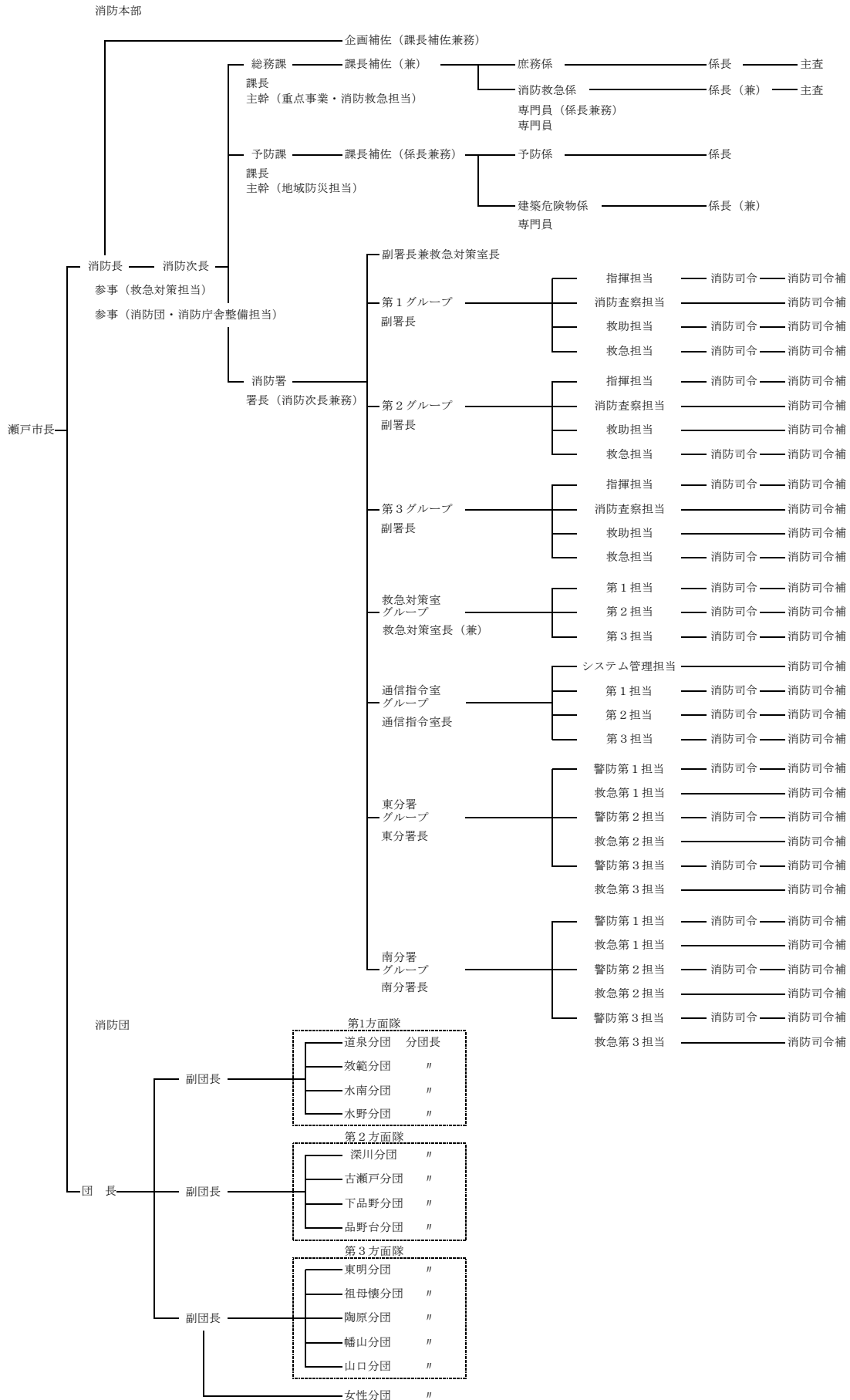


令和 5 年度消防費の市民負担額

市民 1 人当たりの額	1 世帯当たりの額
11,271 円	24,886 円

消防本部・消防署・消防団組織図

(令和5年4月1日現在)



消 防 本 部 の 事 務 分 掌

総務課 庶務係

- 1 消防職員の任免その他の人事に関する事。
- 2 消防職員及び消防団員の教養計画に関する事。
- 3 行政組織及び事務の委任配分に関する事。
- 4 予算の総括に関する事。
- 5 規則等の制定又は改廃に関する事。
- 6 文書取扱い及び文書管理の総括に関する事。
- 7 公印の取扱いの総括に関する事。
- 8 消防職員の福利厚生に関する事。
- 9 消防関係施設の管理に関する事。
- 10 消防団に関する事。
- 11 消防職員委員会に関する事。
- 12 表彰に関する事。
- 13 他の所管に属さない事項に関する事。
- 14 消防本部の庶務に関する事。
- 15 総務課の庶務に関する事。

消防救急係

- 1 消防部隊の統制に関する事。
- 2 消防相互応援に関する事。
- 3 消防水利の計画及び管理に関する事。
- 4 消防計画に関する事。
- 5 消防資機材の管理に関する事。
- 6 救急業務の総括に関する事。

予防課 予防係

- 1 火災予防に関する事。
- 2 消防広報の総括に関する事。
- 3 地域防災力の向上に関する事。
- 4 消防統計に関する事。
- 5 瀬戸防火防災協会連合会に関する事。
- 6 瀬戸市危険物安全協会に関する事。
- 7 瀬戸市自衛消防連絡協議会に関する事。
- 8 瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会に関する事。
- 9 瀬戸市女性防火クラブ協議会に関する事。
- 10 自警団に関する事。
- 11 予防課の庶務に関する事。

建築危険物係

- 1 火災予防査察その他の防火指導の総括に関する事。
- 2 消防法令違反の処理の総括に関する事。
- 3 建築許可等の同意に関する事。
- 4 消防用設備等及び特殊消防用設備等の設置及び維持管理の指導に関する事。
- 5 防火管理業務及び防災管理業務の指導に関する事。
- 6 火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある物質等の指導に関する事。
- 7 危険物等の規制及び指導に関する事。
- 8 危険物に係る流出等の事故の原因の調査に関する事。
- 9 液化石油ガス設備工事の届出の受理等に関する事。
- 10 煙火の消費許可等に関する事。
- 11 宅地開発等における消防用水利施設等の設置の指導に関する事。

消 防 署 の 事 務 分 掌

- 1 消防署の業務の管理に関する事。
- 2 防火訓練の指導に関する事。
- 3 消防広報活動に関する事。
- 4 火災及び災害の警戒及び防御に関する事。
- 5 救助活動に関する事。
- 6 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- 7 消防相互応援の実施に関する事。
- 8 消防団の訓練指導に関する事。
- 9 消防水利の整備保全に関する事。
- 10 消防機械器具、防災資機材及び救急資機材の整備保全に関する事。
- 11 救急業務に関する事。
- 12 応急手当の普及に関する事
- 13 火災、救急等の受信及び出動指令の伝達に関する事。
- 14 愛知県広域災害救急医療情報システムの運用に関する事。
- 15 気象情報及び災害情報に関する事。
- 16 火災警報に関する事。
- 17 高度情報通信ネットワークの運用に関する事。
- 18 通信施設の整備保全に関する事。
- 19 その他消防情報に関する事。
- 20 消防署の庶務に関する事。

消防力の整備指針と現有消防力

1 施設

令和5年4月1日現在

施設	整備指針	現有数	充足率 (%)
施設	3	3	100

2 車両

令和5年4月1日現在

車 両	整備指針 (台) (非常用を除く)	現有数 (台) (非常用を除く)	充足率 (%)
消防ポンプ自動車	7	7	100
はしご自動車	2	1	50.0
化学消防車	1	1	100
救助工作車	1	1	100
指揮車	1	1	100
救急車	6	5	83.3
特殊車等	10	10	100
合 計	28	26	92.9

※ はしご自動車は、現有数の1台以外に15メートル級の空中活動車を配備

3 人員

令和5年4月1日現在

人員	整備指針 (人)	現有人員 (人)	充足率 (%)
指揮隊員	9	102	59.3
消防隊員	99		
救急隊員	48		
救助隊員	16		
通信員	8	8	100
予防要員	17	11	64.7
庶務の処理等の人員	26	18	69.2
合 計	223	139	62.3

消 防 職 員 数

令和5年4月1日現在

階 級 別		合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 員	そ の 他	
所 属 別												
合 計		139 (6)	1	14 (2)	24 (4)	34	18	17	30		1	
消 防 本 部	消 防 長	1	1									
	消 防 次 長	1		1								
	参 事	2		2								
	企 画 補 佐	1			1							
	総 務 課	総 務 課 長	1		1							
		主 幹 (重点事業・消防救急担当)	1		1							
		課 長 補 佐	(1)			(1)						
		専 門 員	2			2						
		庶 務 係	3				2			1		
		消 防 救 急 係	1 (1)			(1)	1					
		派 遣 職 員 等	1					1				
		そ の 他	1									1
	予 防 課	予 防 課 長	1		1							
		主 幹 (地域防災担当)	1		1							
		課 長 補 佐	1			1						
		専 門 員	1			1						
		予 防 係	3				1	1	1			
		建 築 危 険 物 係	4 (2)			(2)		2	2			
	小 計	26 (4)	1	7	5 (4)	4	4	3	1		1	
	消 防 署	署 長	(1)		(1)							
副 署 長 兼 救 急 対 策 室 長		1		1								
第 1 グ ル ー プ		副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		消 防 査 察 担 当	4				1		2	1		
		救 助 担 当	4			1		1	1	1		
第 2 グ ル ー プ		副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		消 防 査 察 担 当	4				1	2		1		
		救 助 担 当	4				1		2	1		
第 3 グ ル ー プ		副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		消 防 査 察 担 当	4				1	1	1	1		
		救 助 担 当	4				1	1	2			
救 急 対 策 室		救 急 対 策 室 長	(1)		(1)							
		第 1 担 当	3			1	1			1		
		第 2 担 当	3			1	1			1		
		第 3 担 当	3			1	1			1		
小 計		55 (2)		4 (2)	10	14	7	8	12			
通 信 指 令 室		通 信 指 令 室 長	1		1							
	シ ス テ ム 管 理 担 当	1				1						
	第 1 担 当	2			1	1						
	第 2 担 当	2			1	1						
	第 3 担 当	2			1	1						
小 計	8		1	3	4							
東 分 署 グ ル ー プ	東 分 署 長	1		1								
	警 防 第 1 担 当	5			1	1	1		2			
	救 急 第 1 担 当	3				1		2				
	警 防 第 2 担 当	5			1	1	1		2			
	救 急 第 2 担 当	3				1	1		1			
	警 防 第 3 担 当	5			1	1		1	2			
	救 急 第 3 担 当	3				1	1		1			
小 計	25		1	3	6	4	3	8				
南 分 署 グ ル ー プ	南 分 署 長	1		1								
	警 防 第 1 担 当	5			1	1	1		2			
	救 急 第 1 担 当	3				1		1	1			
	警 防 第 2 担 当	5			1	1	1		2			
	救 急 第 2 担 当	3				1		1	1			
	警 防 第 3 担 当	5			1	1		1	2			
救 急 第 3 担 当	3				1	1		1				
小 計	25		1	3	6	3	3	9				

※職員数の内2名は女性

※再任用職員6名を含む。

※ () 内は兼務職員数

消 防 団 員 数

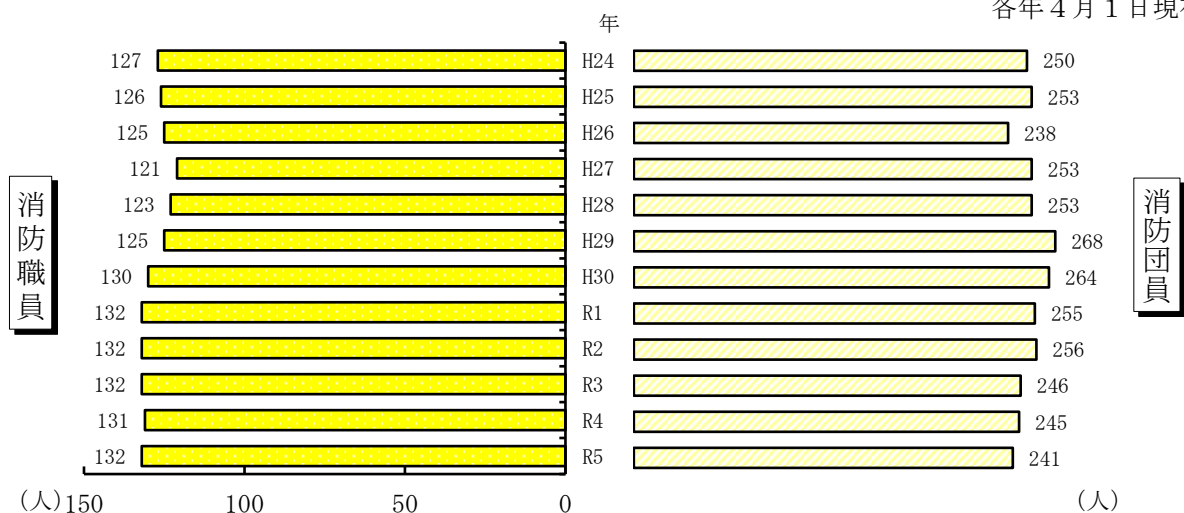
令和5年4月1日現在

階級別 分団別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	241	1	3	14	26	25	26	107
39								
団 本 部	4	1	3					
道 泉 分 団	17			1	2	2	2	7 ③
深 川 分 団	14			1	2	2	2	6 ①
古瀬戸分団	13			1	2	2	2	1 ⑤
東 明 分 団	16			1	2	2	2	4 ⑤
祖母懐分団	16			1	2	2	2	5 ④
陶 原 分 団	15			1	1	1	2	8 ②
效 範 分 団	11			1	1	1	2	6
水 南 分 団	21			1	2	2	2	10 ④
水 野 分 団	20			1	2	2	2	10 ③
下品野分団	16			1	2	2	2	4 ⑤
品野台分団	20			1	2	2	2	10 ③
幡 山 分 団	17			1	2	2	1	9 ②
山 口 分 団	19			1	2	2	2	10 ②
女 性 分 団	22			1	2	1	1	17

○災害支援団員数

消 防 職 員 ・ 団 員 数 の 推 移

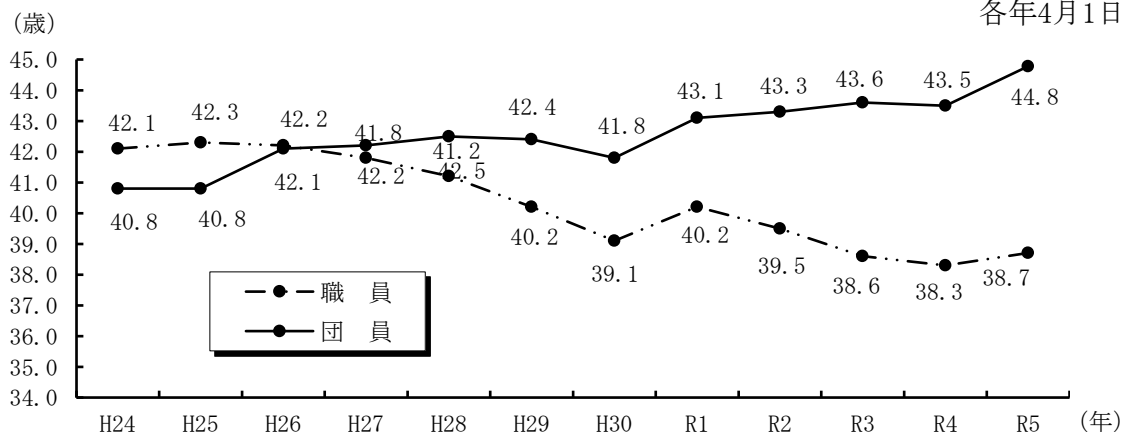
各年4月1日現在



※消防職員数は再任用を除く

消 防 職 員 ・ 団 員 の 平 均 年 齢 の 推 移

各年4月1日現在



消防職員派遣教養科目別実施状況

【県消防学校等】

科目		年度	合計	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
幹部科	初級		2		1			1					
	中級		3			1			1			1	
	上級		3	1			1			1			2
警防科			8	1	1	1	1	1	1	1		1	
救助科			8	1	1	1	1	1	1	1		1	1
救急科標準課程			41	3	3	4	2	6	11	8	2	2	4
はしご自動車等運用科			11		1	1	1	2	2	2		2	2
指導員養成科			0										
初任科			46	3	3	3	7	8	10	6	3	3	6
予防科	危険物課程		3	1			1		1				1
	火災調査課程		4		1			1		1		1	1
	予防査察課程		4			1		1		1		1	
特殊災害科			0										
地震防災科			8	1	1	1	1	1		1	1	1	2
新任消防長（行政出身）科			0										
小隊長科			0										
指揮隊科			6	1	1	1		1	1			1	1
外傷・災害対応講習			16	2		2	3	3	3	3			
合計			163	14	13	16	18	26	31	25	6	14	20

【救急救命士養成関係】（ ）内は令和5年4月1日現在の救命士数

科目		年度	合計	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
救急救命士養成 救命士合計 (45)			10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急救命士気管挿管養成 (12)			8	1	1	1	1	1	1	1		1	
救急救命士薬剤投与養成 (33)			16	1	1	1	1	3	1	1		4	3
合計			34	3	3	3	3	5	3	3	1	6	4

【消防大学校】

科目		年度	合計	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
上級幹部科			0										
幹部科			0										
新任消防長科			1							1			
警防科			1						1				
救助科			4		1	1	1			1			
救急科			0										
予防科			0										
危険物科			1					1					
火災調査科			2	1							1		
新任教官科			1			1							
講習会等			8	1	1	1	1	1	1	1		1	1
合計			18	2	2	3	2	2	2	3	1	1	1

消防職員研修実施状況

内容		年度	合計	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
市職員研修	回数		228	18	29	29	30	17	29	33	21	22	28
	人数		964	34	98	95	87	51	139	259	78	123	257
警防関係	回数		31	2	2	3	2	5	5	7	2	3	3
	人数		103	7	4	4	4	26	21	25	4	8	7
救急・救助関係	回数		177	18	53	24	23	20	17	19	1	2	2
	人数		2,266	275	323	311	325	334	369	326	1	2	2
予防関係	回数		78	13	9	9	9	10	9	11	6	2	1
	人数		124	27	13	12	13	15	13	21	7	3	1
通信関係	回数		13	1	3	2	1	2	3	1	0	0	0
	人数		55	2	13	5	12	5	5	13	0	0	0
その他	回数		63	0	6	11	6	9	11	9	7	4	4
	人数		97	0	9	21	7	12	23	11	8	6	5
合計	回数		590	52	102	78	71	63	74	80	37	33	38
	人数		3,609	345	460	448	448	443	570	655	98	142	272

消防職員・団員公務災害等発生状況

内容		年度	計	小計	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
消防活動中	職員		2	2					1	1				
	団員		0	0										
救急活動中	職員		2	2	1							1		1
	団員		0	0										
調査活動中	職員		0	0										
	団員		0	0										
訓練中	職員		3	3				1	1				1	1
	団員		14	11	4		1		1	2	2	1		2
作業中	職員		1	0										
	団員		1	1		1								
その他	職員		2	2							2			
	団員		6	4	2		2							
通勤災害	職員		0	0										
	団員		0	0										
合計	職員		9	9	1	0	0	1	2	1	2	1	1	2
	団員		16	16	6	1	3	0	1	2	2	1	0	2
	計		25	25	7	1	3	1	3	3	4	2	1	4

消防本部車両運用状況

令和4年中

	火災出動			風水害出動		演習・訓練等		救急出動		救助出動		広報・指導		警防調査		火災調査		特別警戒		捜索		予防査察		誤報等		その他		一般事務		年間走行距離
	回	人員	放水有	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	
合計	151	489	31	0	0	133	396	6,519	20,761	227	1,486	98	267	178	557	26	88	27	87	1	2	223	516	24	82	903	2,256	1,960	2,936	173,789
ポンプ1号車	4	13	0	0	0	1	3	499	1,545	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	1	3	0	0	2	2	2	5	3,638
タンク2号車	15	48	6	0	0	6	18	23	69	16	49	0	0	10	31	1	3	6	20	0	0	13	40	4	12	96	286	18	53	2,711
化学3号車	1	3	1	0	0	3	10	2	6	1	3	0	0	1	3	0	0	1	3	0	0	0	0	2	6	25	78	3	9	583
タンク5号車	24	89	6	0	0	18	65	29	99	28	100	14	46	53	187	3	10	7	27	0	0	8	25	8	29	112	389	22	77	2,830
タンク6号車	14	51	6	0	0	4	13	5	17	27	90	6	20	12	38	7	23	3	11	0	0	15	46	10	35	37	98	29	94	1,879
ポンプ8号車	9	28	1	0	0	0	0	230	747	1	4	2	7	31	100	0	0	0	0	0	0	11	34	0	0	6	19	13	41	2,846
ポンプ9号車	10	31	4	0	0	0	0	428	1,498	1	5	0	0	5	18	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	11	32	1	1	42,058
ポンプ10号車	19	65	7	0	0	9	26	101	319	6	12	0	0	6	18	1	3	0	0	0	0	2	6	0	0	68	208	27	84	2,457
空活31号車	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	28	0	0	522
はしご32号車	2	6	0	0	0	5	17	0	0	0	0	0	0	7	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	21	2	4	350
救助43号車	0	0	0	0	0	3	14	0	0	66	207	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	916
指揮51号車	29	87	0	0	0	24	71	12	32	74	224	49	147	18	54	2	6	5	14	0	0	1	3	0	0	195	581	73	220	5,696
指揮52号車	2	14	0	0	0	9	39	1	3	3	8	3	14	1	8	0	0	1	2	0	0	4	12	0	0	16	65	134	245	4,387
広報61号車	1	4	0	0	0	2	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	48	96	0	0	16	25	214	283	5,252
広報62号車	1	3	0	0	0	3	4	0	0	0	0	3	3	3	9	1	1	0	0	1	2	34	60	0	0	22	28	321	383	6,066
広報64号車	4	9	0	0	0	20	55	0	0	0	0	10	11	11	25	2	12	0	0	0	0	14	33	0	0	100	154	247	264	5,353
輸送71号車	0	0	0	0	0	1	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7	3	4	156
輸送72号車	2	5	0	0	0	6	10	0	0	0	0	3	3	7	14	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	109	124	89	101	3,496
団活73号車	0	0	0	0	0	10	27	0	0	0	0	2	8	1	7	1	4	0	0	0	0	11	26	0	0	10	18	124	188	5,569
査察74号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	58	123	0	0	8	12	211	284	5,182
輸送75号車	3	5	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	5	7	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	10	12	72	79	1,579
査察76号車	4	7	0	0	0	2	4	0	0	0	0	2	2	6	14	5	21	0	0	0	0	1	3	0	0	10	17	261	301	4,715
水槽77号車	2	6	0	0	0	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	16	37	6	13	943
連絡78号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	196	3,101
救急1号車	0	0	0	0	0	0	0	755	2,535	2	684	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	11,177
救急2号車	1	3	0	0	0	0	0	210	664	2	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	3,475
救急3号車	0	0	0	0	0	0	0	896	2,836	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,476
救急5号車	0	0	0	0	0	0	0	1,529	5,011	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,985
救急6号車	4	12	0	0	0	0	0	1,798	5,377	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9	0	0	15,391

消 防 団 活 動 状 況

令和4年中

区 分	合計		火災出動		放水 回数	水防活動 及び 警戒活動		訓練出動		広報出動		その他		走行 距離 Km
	回数	人員	回数	人員		回数	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	
合 計	1,366	8,372	77	491	9	44	429	821	4,991	252	1,813	172	648	11,252
うち支援団員	(27)	(63)	(25)	(58)				(2)	(4)	(1)	(1)			
消防団本部	103	224	14	42		1	4	73	127	3	8	12	43	
うち女性消防団員	3	7						(3)	(7)					
道泉分団	97	495	2	17	1	3	32	62	260	17	117	13	69	444
うち支援団員														
深川分団	82	441	4	17		4	42	31	185	21	161	22	36	292
うち支援団員														
古瀬戸分団	80	365	4	24	1	3	24	49	187	21	120	3	10	439
うち支援団員	(3)	(7)	(2)	(4)				(1)	(3)					
東明分団	55	254	4	21		3	24	26	114	19	89	3	6	929
うち支援団員	(3)	(8)	(3)	(8)										
祖母懐分団	74	635	4	50		3	36	39	349	22	171	6	29	506
うち支援団員	(4)	(16)	(4)	(16)										
陶原分団	57	459	9	53	1	4	41	26	217	17	137	1	11	561
うち支援団員			1											
效範分団	196	1376	7	38	1	3	32	156	1110	23	170	7	26	2521
うち支援団員														
水南分団	96	597	4	21		5	54	46	305	23	170	18	47	772
うち支援団員														
水野分団	86	704	2	21	1	3	29	71	583	7	51	3	20	1460
うち支援団員	(1)	(2)	(1)	(2)										
下品野分団	67	434	3	25	2	4	35	35	201	20	156	5	17	613
うち支援団員	(5)	(12)	(3)	(10)				(1)	(1)	(1)	(1)			
品野台分団	66	609	3	27	1	3	38	37	387	15	122	8	35	1020
うち支援団員														
幡山分団	70	504	9	63	1	5	38	32	204	22	186	2	13	784
うち支援団員	(6)	(11)	(6)	(11)										
山口分団	73	636	8	72				43	396	20	149	2	19	911
うち支援団員	(5)	(7)	(5)	(7)										
女性分団	164	639						95	366	2	6	67	267	
うち支援団員														

うち女性消防団員内は、訓練出動は救命講習及びその他は暮らしのあんしん訪問の回数・人員のみを計上。

第2編

消防施設

消 防 庁 舎 等 設 置 状 況

令和5年4月1日現在

区分	名 称	建 築 年 月 日	構 造	延 床 面 積 (敷地面積)	所 在 地
消 防 庁 舎	消 防 本 部 消 防 署	S 47. 7. 31 (増築S62.2.28)	R・C造3階建 一部5階建	1,622.52㎡ (3241.84㎡)	苗場町101
	消 防 署 東 分 署	H 1. 10. 14	R・C造2階建 一部地下1階	934.81㎡ (2698.04㎡)	品野町1-190-1
	” 訓 練 塔	H 1. 10. 14	S 造 4 階 建	135.36㎡	品野町1-190-1
	消 防 署 南 分 署	H 3. 3. 1	R・C造2階建	590.98㎡ (2331.99㎡)	南山口町143
消 防 分 団 詰 所	道 泉 分 団	H 27. 3. 29	R・C造2階建	177.34㎡ (347.85㎡)	西谷町6
	深 川 分 団	H 29. 3. 7	R・C造2階建	150.50㎡ (276.39㎡)	宮脇町2-5
	古 瀬 戸 分 団	S 55. 3. 31	R・C造2階建	75.47㎡ (280.98㎡)	西古瀬戸町8-3
	東 明 分 団	H 4. 3. 22	R・C造2階建	145.00㎡ (741.89㎡)	西窯町94
	祖 母 懐 分 団	H 15. 2. 28	R・C造2階建	152.50㎡ 祖母懐公民館併設	上ノ切町43
	陶 原 分 団	S 60. 9. 30	R・C造2階建	99.32㎡ (244.48㎡)	陶原町2-44-1
	效 範 分 団	H 18. 3. 1	R・C造2階建	128.70㎡ (245.33㎡)	汗干町81-20
	水 南 分 団	S 60. 3. 30	R・C造2階建	98.53㎡ (453.65㎡)	北松山町1-63-2
	水 野 分 団	S 53. 12. 15	R・C造2階建	88.41㎡ (539.43㎡)	中水野町1-155
	下 品 野 分 団	H 9. 3. 5	S・R・C造2階建	152.50㎡ (401.00㎡)	品野町6-108-1
	品 野 台 分 団	S 63. 3. 27	R・C造2階建	108.50㎡ (322.52㎡)	上品野町335-3
	幡 山 分 団	S 56. 3. 31	R・C造2階建	73.31㎡ 幡山公民館併設	幡山町71
	山 口 分 団	H 28. 3. 7	R・C造2階建	222.50㎡ (600.62㎡)	大坪町113-2
水 防 倉 庫 等	消 防 署 水 防 倉 庫	消 防 署 併 設		19.70㎡	苗場町101
	消 防 署 倉 庫	H 7. 3. 8	コ ン テ ナ 式	14.30㎡	苗場町101
	防 災 資 機 材 地 域 備 蓄 倉 庫	H 7. 10. 6	S 造 平 屋 建	165.60㎡	苗場町101
	資 機 材 倉 庫	R 4. 3. 1	LS 造 平 屋 建	9.00㎡	苗場町101
	東 分 署 水 防 倉 庫	東 分 署 併 設		13.00㎡	品野町1-190-1
	南 分 署 倉 庫	S 62. 11. 20	コ ン テ ナ 式	13.70㎡	南山口町143
	東 明 水 防 倉 庫	東 明 分 団 詰 所 併 設		27.00㎡	西窯町94
	陶 原 水 防 倉 庫	瀬 戸 蔵 併 設		22.44㎡	蔵所町1-1
	效 範 水 防 倉 庫	效 範 分 団 詰 所 併 設		22.50㎡	汗干町81-3
	水 野 水 防 倉 庫	水 野 分 団 詰 所 併 設		17.01㎡	中水野町1-155
	品 野 水 防 倉 庫	S 61. 7. 31	コ ン テ ナ 式	13.70㎡	品野町6-108-1
	幡 山 水 防 倉 庫	S 58. 1. 10	C・B造平屋建	39.32㎡	幡山町71
	上 半 田 川 倉 庫	S 63. 2. 22	コ ン テ ナ 式	13.70㎡	上半田川町345
	片 草 倉 庫	H 1. 1. 16	コ ン テ ナ 式	14.64㎡	片草町226-5
	下 半 田 川 倉 庫	H 1. 9. 29	コ ン テ ナ 式	14.30㎡	下半田川町843-1
道 泉 倉 庫	H 27. 3. 29	コ ン テ ナ 式	8.94㎡	西谷町6	
器 具 庫	水 南 器 具 庫	水 南 分 団 詰 所 併 設		16.80㎡	北松山町1-63-2
	陶 原 器 具 庫	陶 原 分 団 詰 所 併 設		12.60㎡	陶原町2-44-1

消 防 車 両 等 配 備 状 況

令和5年4月1日現在

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 署	ポンプ 1 号	ポンプ車	平23年12月	11	4.00 L	CD-I	
	タンク 2 号	タンク車	平21年 3月	14	6.40 L	水II型	水 2,000 L
	化学 3 号	化学車	平30年12月	4	5.19 L	化学II型	水 1,300 L 薬液 500 L
	ポンプ 10 号	ポンプ車	令 3年 1月	2	5.12 L	CD-II	水 800 L 救助資器材積載
	梯子 3 2 号	梯子車	令 3年10月	1	8.86 L	30M 級	先端屈折
	救助 4 3 号	救助工作車	平18年11月	16	6.40 L	II型	電源照明付 ウインチ付
	指揮 5 1 号	指揮車	平28年 2月	7	2.69 L		
	指揮 5 2 号	査察車	令 3年 2月	2	2.69 L		
	広報 6 1 号	広報車	平27年 2月	8	1.49 L		
	広報 6 2 号	広報車	平20年 8月	14	0.65 L		
	輸送 7 1 号	輸送車	平18年 8月	16	4.89 L		
	査察 7 4 号	査察車	平31年 2月	4	1.49 L		
	連絡 7 8 号	連絡車	令 3年 9月	1	2.4 L		
	救急 1 号	救急車	令 3年 3月	2	2.48 L	高規格	
	救急 2 号	救急車	令 5年 2月	0	2.48 L	高規格	
	救急 6 号	救急車	令 4年 3月	1	2.69 L	高規格	
	動 - 2	可搬動力ポンプ	平17年10月	17	175 cc	C-1	
	動 - 9	可搬動力ポンプ	平31年 2月	4	205 cc	C-1	
	動 - 1 5	可搬動力ポンプ	平24年 1月	11	635 cc	B-3	
東 分 署	タンク 6 号	タンク車	平24年 2月	11	6.40 L	水II型	水2,000 L (CAFS)
	ポンプ 8 号	ポンプ車	平29年 3月	6	4.00 L	CD-I	電動ホースカー付
	輸送 7 5 号	輸送車	平20年10月	14	2.95 L		
	査察 7 6 号	査察車	平21年 8月	13	1.99 L		
	水槽 7 7 号	水槽車	平15年10月	19	10.52 L	付水II	水 10,000 L
	救急 3 号	救急車	平28年 3月	7	3.49 L	高規格	
	動 - 1 4	可搬動力ポンプ	令 5年 2月	0	209 cc	C-1	
	動 - 1 9	可搬動力ポンプ	平30年 3月	5	209 cc	C-1	4ST
南 分 署	タンク 5 号	タンク車	平23年 2月	12	6.40 L	水II型	水2,000 L (CAFS)
	ポンプ 9 号	ポンプ車	令 4年 2月	1	4.00 L	CD-I	電動ホースカー付
	空活 3 1 号	空中活動車	平26年 3月	9	4.00 L	15M 級	
	広報 6 4 号	広報車	平30年10月	4	1.49 L		
	輸送 7 2 号	輸送車	平30年 3月	5	2.98 L		
	救急 5 号	救急車	平30年 3月	5	3.49 L	高規格	
	動 - 4	可搬動力ポンプ	平13年12月	21	635 cc	B-3	

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 団 等	団活73号	消防団活動車	平30年12月	4	2.35L		
	赤バイ1号	普通自動二輪車	平17年2月	18	0.22L		
	赤バイ2号	普通自動二輪車	平17年2月	18	0.22L		
	赤バイ3号	普通自動二輪車	平17年2月	18	0.22L		
	道泉分団	ポンプ車	令2年3月	3	4.00 L	CD-I	定員6名
	動-3	可搬動力ポンプ	平28年7月	6	175 cc	C-1	
	深川分団	ポンプ車	令2年11月	2	2.98 L	CD-I	定員6名(3.5t未満)
	動-8	可搬動力ポンプ	平24年1月	11	200 cc	C-1	
	古瀬戸分団	ポンプ車	令3年11月	1	2.98 L	CD-I	定員6名(3.5t未満)
	動-17	可搬動力ポンプ	平26年1月	9	200 cc	C-1	
	東明分団	ポンプ車	平17年1月	18	4.00 L	CD-I	定員8名
	搬送3号	資機材搬送車	平22年7月	12	0.65 L		
	動-10	可搬動力ポンプ	平31年2月	5	205 cc	C-1	
	祖母懐分団	ポンプ車	平30年1月	5	4.00 L	CD-I	定員6名
	動-21	可搬動力ポンプ	平27年9月	7	200cc	C-1	
	陶原分団	ポンプ車	平28年12月	6	4.00 L	CD-I	定員6名
	動-18	可搬動力ポンプ	平26年1月	9	200 cc	C-1	
	效範分団	ポンプ車	平13年11月	21	5.24L	CD-I	定員8名
	動-20	可搬動力ポンプ	平26年10月	8	198 cc	C-1	
	水南分団	ポンプ車	平18年2月	17	4.00 L	CD-I	定員8名
	動-22	可搬動力ポンプ	平27年10月	7	200 cc	C-1	
	水南分団	ポンプ車	平22年2月	13	4.00 L	CD-I	定員6名
	搬送1号	資機材搬送車	平20年11月	14	0.65 L		
	動-11	可搬動力ポンプ	平26年10月	8	198 cc	C-1	
	下品野分団	ポンプ車	平19年11月	15	4.00 L	CD-I	定員8名
	搬送4号	資機材搬送車	平24年2月	11	0.65 L		
	動-12	可搬動力ポンプ	平12年11月	22	175 cc	C-1	
	品野台分団	ポンプ車	平15年2月	20	4.77 L	CD-I	定員8名 4WD
	搬送5号	資機材搬送車	平31年3月	4	0.65 L		
	動-13	可搬動力ポンプ	平24年1月	11	200 cc	C-1	
	幡山分団	ポンプ車	平23年1月	12	4.00 cc	CD-I	定員6名
	搬送2号	資機材搬送車	平21年10月	13	0.65 L		
	動-1	可搬動力ポンプ	平10年6月	24	198 cc	C-1	
	山口分団	ポンプ車	平28年3月	7	4.00 L	CD-I	定員6名
	搬送6号	資機材搬送車	平28年2月	7	0.65 L		
	動-23	可搬動力ポンプ	平28年4月	7	526cc	B-3	
上半田川町自警団	可搬動力ポンプ	平11年11月	23	635 cc	B-3		
下半田川町自警団	可搬動力ポンプ	平13年1月	22	635 cc	B-3		
定光寺町自警団	資機材搬送車	平15年10月	19	0.65 L			
定光寺町自警団	可搬動力ポンプ	平11年11月	23	635 cc	B-3		
片草町自警団	可搬動力ポンプ	平25年2月	10	635 cc	B-3		
白岩町自警団	可搬動力ポンプ	平10年2月	25	635 cc	B-3		

主な消防機器保有状況

令和5年4月1日現在

分類	用途	品名	総数	分類	用途	品名	総数	
消火活動資機材	放水器具	ホース 65ミリ	255	救助用具	切断器具	油圧切断機	2	
		〃 50ミリ	169			エンジンカッター	6	
		〃 40ミリ	31			ガス溶断器	1	
		水幕ホース	10			チェーンソー	6	
		水幕金具(予備3含む)	7			エアソー・エアーツール	2	
		ホースブリッジ	16		器破具壊	万能斧	12	
		管そう	54			さく岩機	1	
		二又分水器	24			電気ハンマードリル	2	
救急用資機材	活動救急器具	自動体外式除細動器(AED)	8	救助用具	測定器具	有毒ガス検知器	3	
		患者監視装置	5			放射線測定器	5	
		携帯用酸素蘇生器	5			放射線個人線量計	10	
		医療用ポンペ	69		呼吸保護器具	空気呼吸器	69	
	衛生用器具	救急車室内殺菌装置	4			空気ボンベ	150	
		救急資材滅菌器	1			酸素呼吸器	4	
		救急白衣殺菌ロッカー	4			酸素ボンベ	12	
		うがい器	4			送排風機	2	
	訓練人形	訓練人形	高度処置シミュレーター		4	隊員保護用具	耐電衣一式(上衣・ズボン・長靴)	2
			静脈採血注射モデル		4		耐電手袋	12
			気道管理トレーナー		3		耐熱服	2
			応急手当普及用人形		34	水難救助用具	救命胴衣	20
			AEDトレーナー		17		救命浮輪	3
			分娩シミュレーター		1		救命ボート	1
チョーキングマネキン			2	山岳器具	バスケットストレッチャー		5	
救助用資機材	一般救助器具	かぎ付はしご	7		山岳用担架	2		
		3連はしご	6	その他の救助器具	ロープ登はん機	4		
		ワイヤーはしご	1		投光器	16		
		空気式救助マット	1		発電機	21		
		救命索発射銃	1		携帯マイク	15		
		救助用ばく帯・カバー・スリング	41		携帯無線(デ19、署37、可5)	61		
		集団災害用非常持出担架	24		緩降機	1		
		救助用ロープ12ミリ(200m箱入)	7		対応資機材	陽圧式化学防護服(レベルA)	6	
	カラビナ	258	化学防毒服(レベルB)	27				
	滑車	27	有毒ガス検知管一式	1				
	重量物排除器具	油圧ジャッキ	26	除染シャワー		1		
		油圧スプレッター	3	除染剤散布器		1		
		可搬ウインチ	4	その他の資機材	エアータント(集団災害)	1		
		ワイヤーロープ	10		ドローン	1		
マット型空気ジャッキ一式	3	オイルフェンス	2					
器具探索	熱画像直視装置	5	油処理剤		25			
	簡易画像探索器	1	A火災用泡消火薬剤(200缶)		20			
							B火災用泡消火薬剤(200缶)	19

水防用資機材備蓄状況

令和5年4月1日現在

水防倉庫名		合 計	本 署	東分署	南分署	陶 原	団訓練場	水 野	幡 山	品 野	東 明	效 範	水 南
所在地			苗場町	品野町	南山口町	蔵所町	熊野町	中水野町	幡山町	品野町	西窯町	汗干町	北松山町
面積 (㎡)			19.7	13.0	13.7	16.5	1.6	17.0	39.3	13.7	17.5	17.0	16.8
対象河川			瀬戸川	瀬戸川	矢田川	瀬戸川	瀬戸川	水野川	矢田川	水野川	赤津川	瀬戸川	瀬戸川
主 要 資 材	木くい (本)	2,301	125	110	60	200	0	220	750	413	195	178	50
	ビニール袋 (袋)	20,538	2,988	150	500	2,000	1,000	600	5,000	2,800	1,200	2,200	2,100
	麻袋 (袋)	1,465	530	0	15	0	0	0	120	0	0	0	800
	かます (枚)	540	30	0	0	0	0	100	210	50	100	0	50
	なわ (玉)	135	8	6	5	0	0	5	21	4	10	1	75
	矢板 (枚)	743	23	20	0	0	0	100	0	200	100	0	300
	8番線 (kg)	1,730	50	80	50	100	0	0	400	50	200	200	600
	鉄くい (本)	1,009	201	90	25	58	50	0	70	60	150	30	275
ノーリツ番線 (箱)	41	5	6	4	1	0	1	4	1	1	1	17	
主 要 器 材	のこぎり (丁)	173	81	27	12	13	0	0	8	15	17	0	0
	なたのこセット (丁)	31	17	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0
	なた (丁)	86	39	9	10	9	0	3	10	0	6	0	0
	ハンマー (丁)	80	39	13	7	2	2	2	0	5	0	5	5
	掛矢 (丁)	90	18	4	9	20	3	2	9	0	2	3	20
	たこづち (丁)	16	5	6	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	シャベル (丁)	380	142	33	38	50	16	11	10	0	5	15	60
	つるはし (丁)	42	21	4	1	1	0	1	11	0	2	1	0
	かま (丁)	155	82	17	18	3	0	7	5	5	4	7	7
	クリッパー (丁)	64	34	12	10	4	0	0	0	0	4	0	0
	しの (丁)	60	29	11	9	10	0	0	0	0	1	0	0
	バッチくわ (丁)	12	10	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	防水シート (枚)	306	162	37	40	3	0	16	10	10	10	8	10
	一輪車 (台)	12	5	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0
水防T型マット	34	2	3	5	0	0	0	0	0	0	0	24	

消 防 水 利 設 置 状 況

令和5年4月1日現在

連 区 別	合 計	防火水槽・貯水槽（公設）				防 火 水 槽 （私設）				消火栓		その他の水利		
		100m ³ 以上	60～100 m ³ 未満	40～60 m ³ 未満	40m ³ 未 満	100m ³ 以上	60～100 m ³ 未満	40～60 m ³ 未満	40m ³ 未 満	基準 適合	基準 以外	池	プ ール	そ の 他
道泉	116 (8)			9 (5)	1			3 (3)		77	26			
深川	81 (3)			6 (3)	3			1		65	6			
古瀬戸	103 (2)			11 (2)	4			1		59	26			2
東明	139 (10)			15 (8)	2		1	1 (1)	1 (1)	82	32	1		4
祖母懐	129 (6) ● 1	2 (2) ● 1		11 (4)	4					84	27		1	
陶原	210 (9)			17 (3)	3			7 (6)		146	33		3	1
長根	252 (14)			14 (6)	1			11 (8)		151	73	1	1	
效範	355 (36) ● 1	2 (2) ● 1		39 (22)				14 (12)		213	83		4	
水南	185 (15)			23 (9)	1	1		16 (6)		88	54		1	1
水野	441 (25)			29 (17)	10	1	8 (2)	23 (6)	15	240	108	3	3	1
下品野	207 (13)	2 (1)		19 (12)	7			3		110	65		1	
品野	178 (10)			13 (8)	5	1	1	3 (2)	4	88	57	2	3	1
幡山	474 (21)			26 (13)	4		3 (1)	17 (7)	6	289	123	1	3	2
山口	255 (12)			15 (8)	6		2 (2)	9 (2)	2	155	62	2	2	
西陵	164 (10)			16 (7)				2 (2)	1 (1)	133	10		2	
原山台	49 (4)			4 (2)				2 (2)		42			1	
萩山台	79 (1)			3 (1)						54	7		2	13
八幡台	102 (2)			4 (2)						82			1	15
合 計	3,519 (201) ● 2	6 (5) ● 2		274 (132)	51	3	15 (5)	113 (57)	29 (2)	2,158	792			
	● 2	331	(137)	● 2		160	(64)			2,950		10	28	40

() 内は耐震性を有する防火水槽又は耐震性貯水槽を示す。●は飲料水兼用を示す。

第3編

予 防

連 区 別 防 火 対 象 物 数

令和5年4月1日現在

防火対象物の区分 ※		合計	連 区 別																			
			道	深	古	東	祖	陶	長	效	水	水	西	原	萩	八	品	下	山	本	菱	新
			泉	川	瀬	明	母	原	根	範	南	野	陵	山	山	幡	野	品	野	口	地	野
		4,297	155	102	123	168	115	281	441	453	211	462	43	64	40	30	213	247	337	422	219	171
(1)	イ 劇場等	4										3										1
	ロ 公会堂等	61	1		3	1	4	3	7	7	4	3	2	3	1	1	7	3	5	1	1	4
(2)	イ キャバレー等	0																				
	ロ 遊技場等	6								1	1									2		2
	ハ ニ 性風俗特殊営業店舗等 カラオケボックス等	0 1								1												
(3)	イ 料理店等	0																				
	ロ 飲食店	62	1		1			4	17	5	8	4					1	1	5	9		6
(4)	百貨店等	155	4	3	5		2	17	29	14	10	7	3	2			1	7	11	23	3	14
(5)	イ 旅館等	11	1	1						2	2	3					2					
	ロ 共同住宅等	880	21	5	19	5	14	38	103	138	62	25	9	33	27	21	18	32	134	44	92	40
(6)	イ 病院・診療所等	54	1	3			1	6	3	11	8	2	1	2		1	3	3	3	3	1	2
	ロ 老人短期入所施設等	58		2	5	1		5	6	7	3	9			1		5	2	4	4	3	1
	ハ 老人デイサービスセンター等	79	1	2	1		1	7	10	7	5	8	3	2	3	2	3	3	10	5	3	3
	ニ 幼稚園等	13			1				1		2		4	2	1	1			1			
(7)	学校	159	4		3		2	25	8	11	8	14	11	2	3	2	31	2	12	1	13	7
(8)	図書館等	18		1			3	1			3	1							8		1	
(9)	イ 特殊浴場	0																				
	ロ 一般浴場	1						1														
(10)	停車場	3	1								1											1
(11)	神社・寺院等	76	5	5	6	3	5	3	14	6	3	4	1				4	2	7	3	4	1
(12)	イ 工場等	1,118	51	34	43	99	49	51	68	55	25	210	2				71	86	41	165	41	27
	ロ スタジオ	0																				
(13)	イ 駐車場等	55	1		2	4		4	7	6	8	8					3	1	2	3	1	5
	ロ 航空機格納庫	0																				
(14)	倉庫	462	23	10	15	29	9	19	49	32	10	67					26	38	27	82	16	10
(15)	事務所等	449	8	7	8	21	8	32	48	44	14	62	2	2	1		28	52	30	49	21	12
(16)	イ 特定複合用途	333	25	19	4	1	10	33	38	65	25	17	4	14	3	1	5	6	20	14	6	23
	ロ 非特定複合用途	234	6	8	7	4	7	32	32	42	9	13	1	2		1	5	9	17	14	12	13
(16の2)	地下街	0																				
(16の3)	準地下街	0																				
(17)	文化財	2										2										
(18)	アーケード	3	1	2																		
(19)	指定山林	0																				
(20)	指定舟車	0																				

※消防法施行令別表第1による区分をいう。以下同じ。

階別 防火対象物数

令和5年4月1日現在

防火対象物の区分		中高層建築物														地階あり			地下のみ
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階以上	地下1階	地下2階	地下3階以下	
		624	151	108	35	23	25	13	10	14	5	4	6	6	0	135	9	1	
(1)	イ	劇場等																	
	ロ	公会堂等	3	2													1		
(2)	イ	キャバレー等																	
	ロ	遊技場等	1																
	ハ	性風俗特殊営業店舗等																	
(3)	イ	料理店等																	
	ロ	飲食店	4														1		
(4)		百貨店等	11	4													6		1
(5)	イ	旅館等	3	1	1			1									2		
	ロ	共同住宅等	141	60	88	21	17	20	11	8	11	5	4	6	6		17	1	1
(6)	イ	病院診療所等	8	4	2	2		1		1							3	1	
	ロ	老人短期入所施設等	7	3															
	ハ	老人デイサービスセンター等	5				1		1								4		
	ニ	幼稚園等	4														1		
(7)		学校	40	15	2	1										13			
(8)		図書館等	3													1	3		
(9)	イ	特殊浴場																	
	ロ	一般浴場	1																
(10)		停車場																	
(11)		神社・寺院等	5	1													4		
(12)	イ	工場等	90	11	1	1											16	1	
	ロ	スタジオ																	
(13)	イ	駐車場等	3	2	2												1	1	2
	ロ	航空機格納庫																	
(14)		倉庫	37	10	1												12		1
(15)		事務所等	64	8	4	3	2										28		
(16)	イ	特定複合用途	100	20	4	4	2	3	1		2						18	2	
	ロ	非特定複合用途	94	10	3	3	1			1	1						7		
(16の2)		地下街																	
(16の3)		準地下街																	
(17)		文化財																	

防 火 管 理 者 選 任 状 況

令和5年4月1日現在

防火対象物の区分		防火管理者の選任が必要な 防火対象物数（件）	防火管理者の選任届が提出 されている防火対象物数（件）	届出率（％）
		895	794	89
(1)	イ 劇場等	4	4	100
	ロ 公会堂等	101	70	69
(2)	イ キャバレー等	—	—	—
	ロ 遊技場等	6	6	100
	ハ 性風俗特殊営業店舗等	—	—	—
	ニ カラオケボックス等	1	1	100
(3)	イ 料理店等	—	—	—
	ロ 飲食店	62	58	94
(4)	百貨店等	114	106	93
(5)	イ 旅館等	8	8	100
	ロ 共同住宅等	112	106	95
(6)	イ 病院・診療所等	16	15	94
	ロ 老人短期入所施設等	55	49	89
	ハ 老人デイサービスセンター等	52	49	94
	ニ 幼稚園等	10	9	90
(7)	学校	40	39	98
(8)	図書館等	7	7	100
(9)	イ 特殊浴場	—	—	—
	ロ 一般浴場	1	1	100
(10)	停車場	—	—	—
(11)	神社・寺院等	33	28	85
(12)	イ 工場等	58	55	95
	ロ スタジオ	—	—	—
(13)	イ 駐車場等	1	1	100
	ロ 航空機格納庫	—	—	—
(14)	倉庫	7	7	100
(15)	事務所等	63	60	95
(16)	イ 特定複合用途	123 (17)	96 (17)	78 (100)
	ロ 非特定複合用途	20 (2)	18 (2)	90 (100)
(16の2)	地下街	—	—	—
(16の3)	準地下街	—	—	—
(17)	文化財	1	1	100
(18)	アーケード	—	—	—
(19)	指定山林	—	—	—
(20)	指定舟車	—	—	—

（ ）内は統括防火管理対象物を再掲

防 火 管 理 講 習 実 施 状 況

令和4年度

甲種防火管理新規講習		甲種防火管理再講習		乙種防火管理講習	
回数	修了者数	回数	修了者数	回数	修了者数
1	48	1	23	1	16

※ 一般財団法人日本防火・防災協会（外部委託）開催の講習受講者数

連 区 別 危 険 物 施 設 等 施 設 数

令和5年4月1日現在

施設別	連区別	合計	連 区 別																			
			道 泉	深 川	古 瀬 戸	東 明	祖 母 懐	陶 原	長 根	效 範	水 南	水 野	西 陵	原 山 台	萩 山 台	八 幡 台	品 野	下 品 野	山 口	本 地	菱 野	新 郷
施設区分別	製 造 所	297	8	2	5	26	2	10	27	12	14	62	0	0	0	0	15	28	10	27	45	4
	貯 蔵 所	3										1					2					
	屋 内 (特 定)	197	7	2	2	16	2	6	17	7	8	44	0	0	0	0	12	18	4	19	31	2
	屋外タンク	47		1		3		1	1	2		20				1	2		12	3	1	
	屋内タンク	(8)						(1)	(1)			(4)							(1)	(1)		
	地下タンク	25				9						7						6		1	2	
	簡易タンク	22	3	1	1	3	1	2	2	1		4					1	1		2		
	移動タンク	39			1		1	1	5	3	5	7					3	1	4	1	6	1
	屋 外	5				1											4					
	取 扱 所	53	4						2	9	1	3	6				3	7		2	16	
	給 油 (自家用)	6																1		1	4	
	一 般 販 売	97	1	0	3	10	0	4	10	5	6	17	0	0	0	0	3	8	6	8	14	2
	貯 蔵 量 別	54			2	3		4	7	3	2	6					3	5	4	5	8	2
	指 定 可 燃 物 施 設	(28)			(2)	(3)		(1)	(2)	(1)	(1)	(3)					(2)	(1)	(2)	(4)	(6)	
	少 量 危 険 物 施 設	42	1		1	7			3	2	4	11						3	2	2	6	
指 定 可 燃 物 施 設	1																		1			
貯 蔵 量 別	297	8	2	5	26	2	10	27	12	14	62	0	0	0	0	15	28	10	27	45	4	
指 定 数 量 の 5 倍 以 下	121	6			6	2	4	11	6	3	31					11	10	4	9	17	1	
5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	57	1	1	2	9			4	1	5	12					1	6	3	7	4	1	
10 倍 を 超 え 50 倍 以 下	78	1	1	2	9			3	7	3	5	10				1	6	1	10	19		
50 倍 を 超 え 100 倍 以 下	12			1	2						3					2	1			3		
100 倍 を 超 え 150 倍 以 下	8							1	1		3						3					
150 倍 を 超 え 200 倍 以 下	6										1						2		1	2		
200 倍 を 超 え 250 倍 以 下	5							1	2	1	1											
250 倍 を 超 え 300 倍 以 下	8							1	2	1	1							1			2	
300 倍 を 超 え る も の	2										1							1				
指 定 可 燃 物 施 設	536	22	15	18	38	23	35	35	38	20	83	4	4	3	2	40	30	20	73	14	19	
指 定 可 燃 物 施 設	112	3		2	10	1	5	7	3	1	31					8	5	5	27	3	1	
指 定 可 燃 物 施 設	9					1	1		2									4	1			
指 定 可 燃 物 施 設	1,001	36	31	53	83	47	52	76	69	42	80	6				69	100	101	54	62	40	
指 定 可 燃 物 施 設	17		1		4				2	1	3						1	1	2	2		

() 内は再掲

危 険 物 施 設 に 関 す る 申 請 等 の 件 数

令和4年度

申請等の区分	施設区分	合計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
				屋 内 (特 定)	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油 (自家用)	一 般 販 売	販 売	
合 計		90	9	4	4	7	1	0	9	0	33	0	19	0
許 可	設 置	6		2	1				3					
	変 更	22	3	2	1	1			1		8		6	
完 成 検 査		23	3	2	1	1			4		6		6	
仮 使 用 承 認		20	3	2		1					8		6	
廃 止 ・ 転 出		7			1	4	1						1	
予 防 規 程 認 可		10									10			
完 成 検 査 前 検 査		2							1		1			
仮貯蔵・仮取扱承認		17												

() 内は再掲

危険物施設等施設数の10年間の推移

令和5年4月1日現在

施設別		年度別										
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		350	343	338	335	335	322	318	306	301	297	
製造所		1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	
危険物施設	貯蔵所	屋内 (特定)	39 (8)	41 (8)	43 (8)	44 (9)	44 (8)	45 (8)	47 (8)	46 (8)	47 (8)	47 (8)
		屋外タンク	35	35	34	34	36	33	33	25	25	25
		屋内タンク	33	33	33	33	33	32	30	28	26	22
		地下タンク	48	48	48	44	43	41	40	40	40	39
		簡易タンク	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5
		移動タンク	68	64	57	58	56	53	53	52	50	53
		屋外	5	5	6	5	6	5	6	6	6	6
	取扱所	給油 (自家用)	60 (30)	58 (29)	57 (30)	56 (29)	55 (29)	55 (29)	54 (28)	54 (28)	54 (28)	54 (28)
一般		56	53	54	53	54	50	47	46	44	42	
販売		1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	
少量危険物施設		529	528	519	513	528	531	536	558	547	536	
液化石油ガス施設		978	990	993	972	980	984	1005	1,015	1,015	1,001	

() 内は再掲

防火対象物の査察実施率の推移

(%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
瀬戸市	20.6	21.1	8.6	15.2	16.8
愛知県	15.1	17.0	15.3	16.6	※
全 国	21.4	19.6	14.9	16.1	※

査察実施率：査察回数を防火対象物の総数で除して得た数値

※ 令和4年度の全国及び愛知県の査察実施率は、令和5年6月現在未発表

火災予防査察計画における防火対象物の査察対象物及び査察周期

令和4年度

防火対象物の区分		適用条件	周期（年）
(2)	ロ	遊技場等	3
	二	カラオケボックス等	
(4)		百貨店等	3
(5)	ロ	共同住宅等	4
		3階建て以上かつ収容人員が50人未満のもの	
		収容人員が50人以上のもの 上記以外のもの	
(7)		学校	7
		小学校、中学校及び高等学校 上記以外のもの	
(12)	イ	工場等	5
		延べ面積が500平方メートル以上、1,400平方メートル未満のもの	
		延べ面積が1,400平方メートル以上のもの 上記以外のもの	
(14)		倉庫	5
		延べ面積が500平方メートル以上のもの 上記以外のもの	
(15)		事務所等	5
		延べ面積が1,000平方メートル以上のもの	
		自動火災報知設備又は避難器具が設置されているもの 収容人員が50人以上のもの	
(16)	ロ	非特定複合用途	10
		自動火災報知設備又は避難器具が設置されているもの 延べ面積が500平方メートル以上のもの	
		消火器が設置され、かつ延べ面積が500平方メートル未満のもの	5
		その他のもの	

危険物施設の査察実施状況

令和4年度

		施設数	査察実施件数	査察実施率 (%)
危険物施設		301	41	13.6
	製造所	3	0	0
	屋内貯蔵所	47	2	4.3
	屋外タンク貯蔵所	25	0	0
	屋内タンク貯蔵所	26	2	7.7
	地下タンク貯蔵所	40	10	25.0
	簡易タンク貯蔵所	5	0	0
	移動タンク貯蔵所	50	7	14.0
	屋外貯蔵所	6	0	0
	給油取扱所	54	14	25.9
	一般取扱所	44	6	13.6
販売取扱所	1	0	0	

査察実施率：査察実施件数を施設数で除して得た数値

火災予防査察計画における危険物施設の査察対象物及び査察周期

令和4年度

施設区分	適用条件	周期(年)
製造所等	予防規程を定めなければならないもの (顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所を除く。)	2
給油取扱所	顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所	1
移動タンク貯蔵所	全て	5
その他	上記以外のもの	10

消 防 関 係 団 体

瀬 戸 防 火 防 災 協 会 連 合 会

地域の防火防災思想の高揚と防災体制の確立を図るため、昭和44年に組織され、20連区の自治会を単位に自主防災リーダー及び防火防災委員を委嘱し、「自分たちのまちは、自分たちで守る。」を合言葉に、市内全域の防火防災に関する連合組織として活動しています。

〈防火防災委員〉

令和5年4月1日現在

連 区 名	人 員	連 区 名	人 員
道 泉	34	西 陵	43
深 川	36	原 山 台	10
古 瀬 戸	17	萩 山 台	37
東 明	13	八 幡 台	42
祖 母 懐	21	品 野	26
陶 原	45	下 品 野	17
長 根	90	山 口	21
效 範	65	本 地	15
水 南	20	菱 野	12
水 野	22	新 郷	19
		合 計	605

〈自主防災リーダー〉

令和5年4月1日現在

連 区 名	人 員	連 区 名	人 員
道 泉	13	西 陵	16
深 川	4	原 山 台	8
古 瀬 戸	17	萩 山 台	11
東 明	22	八 幡 台	29
祖 母 懐	17	品 野	39
陶 原	31	下 品 野	18
長 根	36	山 口	55
效 範	33	本 地	16
水 南	13	菱 野	17
水 野	23	新 郷	8
		合 計	426

街 頭 消 火 器 設 置 整 備 事 業

初期消火体制の確立を図るため、昭和49年から市内各所に消火器の設置整備を始めました。その後、名称を「街頭消火器設置整備事業」とし、瀬戸市防火防災協会連合会が更新維持管理を実施しています。

令和5年4月1日現在

連 区 名	世 帯 数	消火器設置本数	令和4年度定期更新状況内訳
道 泉	1,893	87	8
深 川	1,148	66	8
古 瀬 戸	1,621	74	10
東 明	1,803	68	8
祖 母 懐	1,281	85	12
陶 原	3,434	108	11
長 根	4,255	108	7
效 範	7,982	202	23
水 南	4,744	121	8
水 野	3,840	136	12
西 陵	3,199	91	11
原 山 台	1,763	56	6
萩 山 台	1,516	64	9
八 幡 台	1,968	84	9
品 野	1,561	86	10
下 品 野	3,316	97	9
山 口	4,551	133	14
本 地	2,615	84	3
菱 野	2,516	46	4
新 郷	2,914	78	2
合 計	57,920	1,874	184

瀬戸市危険物安全協会

この協会は、危険物、液化石油ガスに起因する災害の発生を防止し、社会公共の福祉の増進に寄与することを目的として、昭和32年4月に設立されました。

危険物等の貯蔵・取扱いに必要な知識、技術の習得、施設の適正管理及び一般火災予防に関する知識の普及等活発な活動を行っています。

令和5年4月1日現在

名称 合計	愛知県陶磁器工業協同組合						品野工組	赤津焼工組	硅砂組合	浴場組合	自家給	石油組合	企業団地	油関係	エール旭分會	その他	
	テーブルウェア	陶芸	赤津製品	オーナメントウエント	工業品	ファイレンセラミックス											
291	29	11	10	24	37	17	30	6	8	1	15	18	15	3	14	53	
	128																

瀬戸市自衛消防連絡協議会

この協議会は、昭和52年に地域及び事業所の自衛消防組織をもって設立されました。各組織とも可搬消防ポンプ等を装備した消防隊を編成し、事業所における火災等、各種災害の防ぎょ活動や予防広報活動を行っています。

〈事業所自衛消防隊〉

令和5年4月1日現在

結成年月日	隊名	人員	結成年月日	隊名	人員
S45.12.1	㈱成田製陶所本社工場自衛消防隊	5	S61.3.10	リンナイ(㈱瀬戸工場自衛消防隊	10
S47.4.1	㈱成田製陶所山口工場自衛消防隊	18	H2.10.1	品野セラミックタイル工業(㈱自衛消防団	10
S49.8.1	東芝ライフスタイル(㈱自衛消防隊	7	〃	㈱ジェイテクトギヤシステム消防隊	10
S50.7.1	㈱マルイチ自衛消防隊	7	H6.4.1	富士特殊紙業(㈱自衛消防隊	10
S52.4.1	伊藤忠セラテック(㈱自衛消防隊	21	H13.4.1	河村電器産業(㈱本地地区自衛消防隊	18
S56.2.1	河村電器産業(㈱暁地区自衛消防隊	19	H20.4.1	豊田合成(㈱瀬戸工場自衛防災隊	55
S56.4.1	ホーユー(㈱瀬戸工場自衛消防隊	42	H21.8.6	テクノエイト(㈱自衛消防隊	59
S57.4.1	鈴一物産(㈱自衛消防隊	7	H30.8.31	名糖産業(㈱瀬戸工場自衛消防隊	72
S59.3.30	㈱東濃LIXIL製作所瀬戸工場自衛消防団	12	H30.9.13	リンナイ(㈱暁工場自衛消防隊	5
			合計	18隊	387

自警団

可搬動力ポンプを装備し、地域における火災等、各種災害の防ぎょ活動や予防広報活動を行っています。

令和5年4月1日現在

結成年月日	団名	人員	結成年月日	団名	人員
S41.4.1	上半田川町自警団	18	S44.4.1	片草町自警団	4
〃	下半田川町自警団	25	S52.7.1	白岩町自警団	6
〃	定光寺町自警団	21	合計	5団	74

瀬戸市女性防火クラブ協議会

この協議会は、平成元年4月1日に設立された瀬戸市婦人消防隊連絡協議会が令和5年4月1日に名称変更したもので、各地域女性（婦人）防火クラブ相互の連絡連携を密にし、家庭における火災予防思想の普及高揚を図ることを目的として活動しています。

令和5年4月1日現在

結成年月日	クラブ名称	人員	結成年月日	クラブ名称	人員
S58. 4. 1	定光寺町女性防火クラブ	34	H13. 3. 30	祖母懐女性防火クラブ	33
H 1. 8. 10	水野婦人防火クラブ	21	H21. 8. 27	西陵女性防火クラブ	21
H 2. 8. 20	道泉女性防火クラブ	51	H27. 9. 28	效範女性防火クラブ	27
H 9. 4. 1	下品野女性防火クラブ	24	合計	7 クラブ	211

瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会

この協議会は、平成12年4月1日に少年消防クラブから名称を変更して設立され、学校教育の課外活動や地域活動の中で防火思想の普及啓発活動を行っています。

令和5年4月1日現在

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
S36. 6. 19	水南小学校少年消防クラブ	444	S60. 6. 17	幡山東小学校少年消防クラブ	598
S43. 1. 20	長根小学校少年消防クラブ	500	H18. 7. 6	幡山西小学校少年消防クラブ	580
S56. 9. 18	品野台少年消防クラブ	101	H23. 7. 8	瀬戸特別支援学校（小学部）少年消防クラブ	30
S57. 7. 18	八幡小学校少年消防クラブ	175	H23. 7. 20	陶原小学校少年消防クラブ	483
S60. 4. 1	西陵小学校少年消防クラブ	625	H23. 7. 25	效範小学校少年消防クラブ	539
〃	下品野小学校少年消防クラブ	366	H24. 6. 21	掛川小学校少年消防クラブ	13
S60. 6. 1	東山小学校少年消防クラブ	433	H24. 6. 25	原山小学校少年消防クラブ	196
〃	水野小学校少年消防クラブ	487	R2. 4. 1	にじの丘小学校少年消防クラブ	778
S60. 6. 3	萩山小学校少年消防クラブ	80	合計	17クラブ	6,428

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
H23. 4. 1	幡山中学校少年消防クラブ	509	H24. 6	品野中学校少年消防クラブ	246
〃	水野中学校少年消防クラブ	565	H26. 4. 1	瀬戸特別支援学校（中学部）少年消防クラブ	18
H23. 7. 20	南山中学校少年消防クラブ	810	R2. 4. 1	にじの丘中学校少年消防クラブ	322
H24. 5	水無瀬中学校少年消防クラブ	564	合計	8クラブ	3,244
H24. 5	光陵中学校少年消防クラブ	210			

瀬戸市幼年消防クラブ

このクラブは、幼年期において正しい火の取扱いについて学び、火の怖さを学ぶことで、火遊び等による火災の減少を図り、将来の地域防災を担う人材を育成するとともに、園児を介して家族等にも防火等に関する広報活動を行うことを目的として、平成23年5月23日に結成されました。

令和5年4月1日現在

加入年月日	園名	人員	加入年月日	園名	人員
H23.5.23	幡山南保育園	90	H23.5.23	瀬戸北保育園	80
H23.5.23	八幡保育園	80	H23.5.23	萩山保育園	80
H23.5.23	水北保育園	145	H23.5.23	みずの保育園	80
H23.5.23	古瀬戸保育園	80	H23.5.23	ふたば保育園	80
H23.5.23	アートチャイルドケア瀬戸幡山西	120	H23.5.23	キッズプラザアスク新瀬戸	120
H23.5.23	品野西保育園	135	H23.5.23	ひなご幼稚園	197
H23.5.23	こうはん保育園	100	H23.5.23	雪の聖母幼稚園	71
H23.5.23	原山保育園	100	H23.5.23	マリア幼稚園	249
H23.5.23	水南保育園	130	H23.5.23	真貴幼稚園	294
H23.5.23	西保育園	135	H23.5.23	菱野幼稚園	375
H23.5.23	南保育園	130	H23.5.23	はちまん幼稚園	212
H23.5.23	幡山東保育園	135	H23.5.23	瀬戸幼稚園	337
H23.5.23	アートチャイルドケア瀬戸南山	130	合計	26園	3,785
H23.5.23	東保育園	100			

防 災 会

防災会は、アーケード内の商店街を中心として、隣接する密集家屋等の特殊地域を火災から守るため、消火訓練や各種の防火思想の普及活動をしています。

令和5年4月1日現在

結成年月日	名 称	人 員
S55.12.1	末広町防災会	7
S56.12.1	朝日町防災会	10

安心・安全トピックス

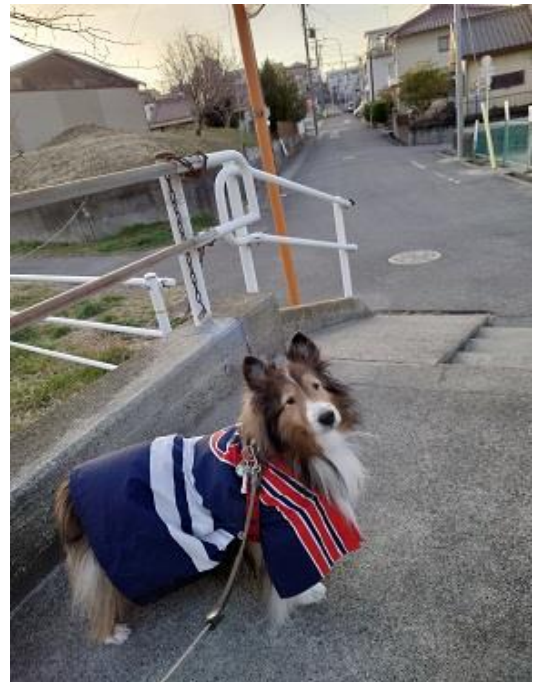
わんわん消防隊

近年のペットブームを受け、飼い主とペットが定期的に行う散歩又は飼い主同士のコミュニケーションの場を利用し、防火・防災等のPRをすることを目的として発足しました（平成24年11月）。朝夕に見かける飼い主とペットの散歩は非常に多く、愛犬に消防隊メダルを着けてもらうとともに、飼い主には消防隊員証を発行し、消防隊員という名の下、防火意識の普及啓発に効果をあげています。

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
登録状況（頭）	247	257	254	262	273	273	269	259



火の用心



救急安心たまご

救急安心たまごは、緊急連絡先や既往歴などの必要事項を記入した安心カードをたまご型のカプセルに入れて、自宅冷蔵庫のたまごケースに保管しておきます。

冷蔵庫のドアに貼られたシールを目印に、救急隊が傷病者の情報を正確に入手する手段として活用します。

救急安心たまご配布状況（平成23年度から）

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
配布数	1,311	1,046	970	523	410	649	667	884	677	769	438	305

合計

8,649

第4編

火災統計

令和4年中の火災発生状況と前年との比較

区 分	令和4年 (A)	令和3年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)	増減率 (%) (C)/(B)×100
出 火 件 数 (件)	23	19	4	21.1
建物火災	13	7	6	85.7
林野火災	0	1	▲ 1	▲ 100.0
車両火災	3	0	3	-
船舶火災	0	0	0	-
航空機火災	0	0	0	-
その他火災	7	11	▲ 4	▲ 36.4
焼 損 棟 数 (棟)	29	7	22	314.3
全 焼	6	0	6	-
半 焼	3	0	3	-
部 分 焼	7	4	3	75.0
ぼ や	13	3	10	333.3
建物焼損床面積 (㎡)	820	8	812	10,150.0
建物焼損表面積 (㎡)	83	3	80	2,666.7
林野焼損面積 (a)	0	2	▲ 2	▲ 100.0
死 者 (人)	5	0	5	-
負 傷 者 (人)	4	4	0	0.0
り 災 世 帯 数 (世帯)	20	5	15	300.0
全 損	4	0	4	-
半 損	2	0	2	-
小 損	14	5	9	180.0
り 災 人 員 (人)	51	15	36	240.0
損 害 額 (千円)	37,521	1,291	36,230	2,806.4
建物火災	36,756	946	35,810	3,785.4
林野火災	0	0	0	-
車両火災	413	0	413	-
船舶火災	0	0	0	-
航空機火災	0	0	0	-
その他火災	352	345	7	2.0
出 火 率 (件/万人)	1.8	1.5	0.3	—

※ 出火率算出のための人口は住民基本台帳（令和4年1月1日現在）による。

※ ▲は減少を示す。

原因別・用途別火災状況

令和4年中

用途 出火原因	出火件数合計		建 物 火 災							林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災	焼 損 面 積		死 傷 者 数		損 害 額 (千円)
			住 宅		産 業 用				建 物 (㎡)				林 野 (a)	死 者	負 傷 者		
			小 計	専 用 住 宅	併 用 住 宅	事 務 所	工 場 ・ 作 業 所	店 舗								そ の 他	
放 火	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放 火 の 疑 い		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
た ば こ	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	1,347	
電 気 機 器	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	114	
こ ん ろ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	
ス ト ー ブ	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	150	0	0	0	0	4,156	
排 気 管	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	
火遊び	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
電灯・電話等の配線	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	115	0	1	0	7,206		
溶接機・切断機	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
マッチ・ライター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	25	
そ の 他	6	1	0	0	0	1	0	0	0	2	3	0	0	0	0	348	
不 明 ・ 調 査 中	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	549	0	4	1	24,276	
合 計	23	13	9	0	0	4	0	0	0	3	7	820	0	5	4	37,521	

初期消火実施状況

令和4年中

区分 火災種別	火災件数 (A)	初期消火 実施件数 (B)	初 期 消 火 の 種 類				実施率(% (B)/(A))	令和3年 実施率(%)
			消火器	水バケツ	水道水・ 汲み置き水等	その他		
建物火災	13	9	3	2	4	0	69.2	85.7
林野火災	0	0	0	0	0	0	-	100.0
車両火災	3	2	1	0	0	1	66.7	0
その他火災	7	4	1	0	2	1	57.1	63.6
合 計	23	15	5	2	6	2	65.2	73.7

出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数

令和4年中

原因	計	発火源	計	経過	計	着火物	計
放火の疑い	1	不明	1	放火の疑い	1	その他（草木）	1
放火	1	不明	1	放火	1	繊維製品	1
たばこ	2	たばこ	2	火源が落下する	1	ごみ屑	2
				不適當なところに捨て置く	1		
電気機器	2	熱せられた金属製品	1	高温物が触れる	1	合成樹脂と成形品	1
		蓄電池	1	不明	1	その他	1
こんろ	1	ガスこんろ	1	過熱する	1	動植物油類	1
ストーブ	1	ストーブ（開放式）	1	可燃物が火源の上に転倒落下する	1	木材	1
排気管	1	排気管	1	機械の調整が適當でない	1	第一石油類	1
火遊び	1	ライター	1	火遊び	1	枯草	1
電灯・電話等の配線	1	コード	1	スパークする	1	不明	1
溶接機・切断機	1	アセチレンガス溶接機・切断機	1	火花が飛ぶ	1	ごみ類	1
マッチ・ライター	1	ライター	1	意図なしのスイッチが入る	1	フロアカーペット	1
その他	6	石油バーナー	1	不適當なところに捨て置く	1	木材及び木製品	1
		交通機関内配線（その他）	1	配線が短絡する	1	合成樹脂と成形品	1
		線香	1	放置する	1	枯草	1
		その他自然発火しやすい油類	1	自然発火する	1	繊維製品	1
		熔融金属	1	火源が転倒落下する	2	木材及び木製品	1
		火のついた紙	1			芝草	1
不明・調査中	4	不明	3	不明	4	不明	4
		石油・ガソリンストーブ（開放式）	1				

署 所 別・連 区 別 火 災 状 況

令和4年中

区分 署所別・連区別	出 火 件 数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
消防署	7	4	0	1	2	8	115	0	1	2	5	10	7,470
東分署	6	3	0	1	2	13	533	0	4	0	8	22	24,152
南分署	10	6	0	1	3	8	172	0	0	2	7	19	5,899
合 計	23	13	0	3	7	29	820	0	5	4	20	51	37,521
道 泉	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
深 川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古瀬戸	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
東 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
祖母懐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陶 原	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	198
長 根	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
效 範	2	1	0	0	1	6	115	0	1	2	5	10	7,260
水 南	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
水 野	3	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	70
西 陵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140
原山台	1	0	0	1	0	3	166	0	0	1	3	5	4,304
萩山台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡台	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
品 野	0	0	0	0	0	10	383	0	4	0	7	18	19,996
下品野	2	1	0	0	1	3	150	0	0	0	1	4	4,156
山 口	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	43
本 地	2	2	0	0	0	2	6	0	0	1	1	3	1,346
菱 野	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6
新 郷	3	2	0	0	1	2	0	0	0	0	2	10	2

曜 日 別 ・ 月 別 火 災 状 況

令和4年中

区分 曜日・月	出火件数					焼損棟数	焼損面積		死傷者数		り災世帯数	り災人員	損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	その他		建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者			
月曜日	2	1	0	0	1	3	150	0	0	0	1	4	4,156
火曜日	4	2	0	2	0	7	125	0	2	0	5	15	7,877
水曜日	4	3	0	0	1	3	6	0	0	1	1	3	1,412
木曜日	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10
金曜日	3	3	0	0	0	6	258	0	2	2	5	16	12,488
土曜日	5	3	0	1	1	7	115	0	1	0	5	8	7,274
日曜日	4	1	0	0	3	3	166	0	0	1	3	5	4,304
合計	23	13	0	3	7	29	820	0	5	4	20	51	37,521
1月	2	2	0	0	0	7	424	0	2	1	6	9	16,737
2月	2	1	0	0	1	6	125	0	2	0	4	14	7,538
3月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
4月	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	9	11
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	3	1	0	1	1	3	150	0	0	0	1	4	4,296
7月	2	1	0	0	1	1	6	0	0	1	1	3	1,346
8月	1	1	0	0	0	5	115	0	1	0	4	7	7,206
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	5	3	0	0	2	3	0	0	0	0	1	1	109
11月	4	2	0	2	0	2	0	0	0	2	1	3	277
12月	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1

天 候 別 火 災 状 況

令和4年中

区分 天候	出火件数					焼損棟数	焼損面積		死傷者数		り災世帯数	り災人員	損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	その他		建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者			
快晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
晴	14	7	0	2	5	9	166	0	0	3	7	19	4,644
曇	9	6	0	1	2	20	654	0	5	1	13	32	32,877
雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	23	13	0	3	7	29	820	0	5	4	20	51	37,521

時 間 別 火 災 状 況

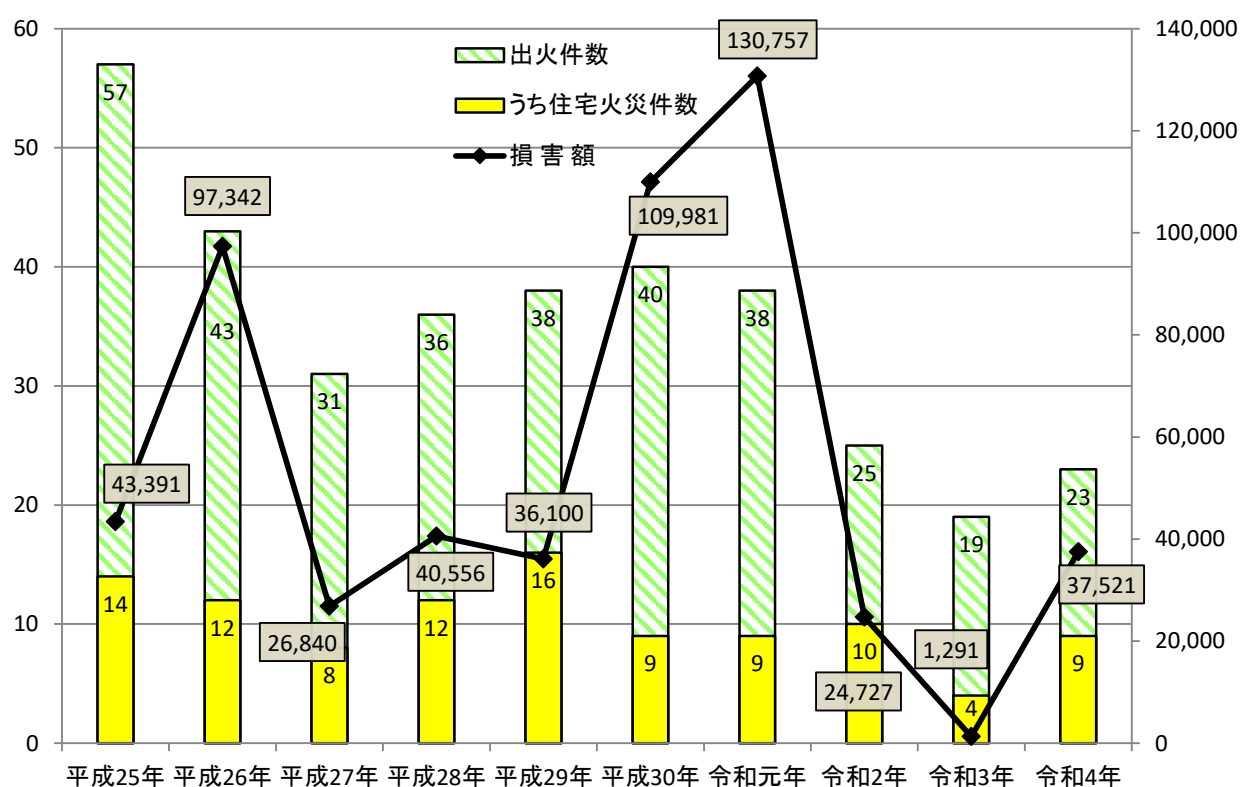
令和4年中

区分 時間	出 火 件 数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
0時～1時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1時～2時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2時～3時	1	1	0	0	0	4	258	0	2	0	3	4	12,433
3時～4時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4時～5時	1	1	0	0	0	1	6	0	0	1	1	3	1,346
5時～6時	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	198
6時～7時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7時～8時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8時～9時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	60
9時～10時	2	1	0	0	1	6	125	0	2	0	4	14	7,544
10時～11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11時～12時	2	1	0	0	1	5	115	0	1	0	4	7	7,206
12時～13時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10
13時～14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14時～15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15時～16時	2	1	0	0	1	3	166	0	0	1	3	5	4,304
16時～17時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
17時～18時	3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	26
18時～19時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19時～20時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20時～21時	1	1	0	0	0	3	150	0	0	0	1	4	4,156
21時～22時	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	9	141
22時～23時	3	3	0	0	0	3	0	0	0	2	2	4	97
23時～24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	23	13	0	3	7	29	820	0	5	4	20	51	37,521

10年間の火災状況

区分 年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積		死 傷 者 数		損害額 (千円)
	合計	建物	住宅	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成25年	57	21	13	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成26年	43	16	12	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成27年	31	15	8	2	2	12	334	47	1	6	26,840
平成28年	36	18	12	0	2	16	364	0	0	5	40,556
平成29年	38	20	15	2	3	13	433	3	0	4	36,100
平成30年	40	14	8	1	5	20	800	19	2	4	109,981
令和元年	38	20	9	0	3	15	1,230	0	0	9	130,757
令和2年	25	11	10	2	4	8	465	1	0	7	24,727
令和3年	19	7	4	1	0	11	8	2	0	4	1,291
令和4年	23	13	9	0	3	7	820	0	5	4	37,521
10年間平均	35	16	10	2	3	14	573	17	1	6	54,851

(件) 10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移 (千円)

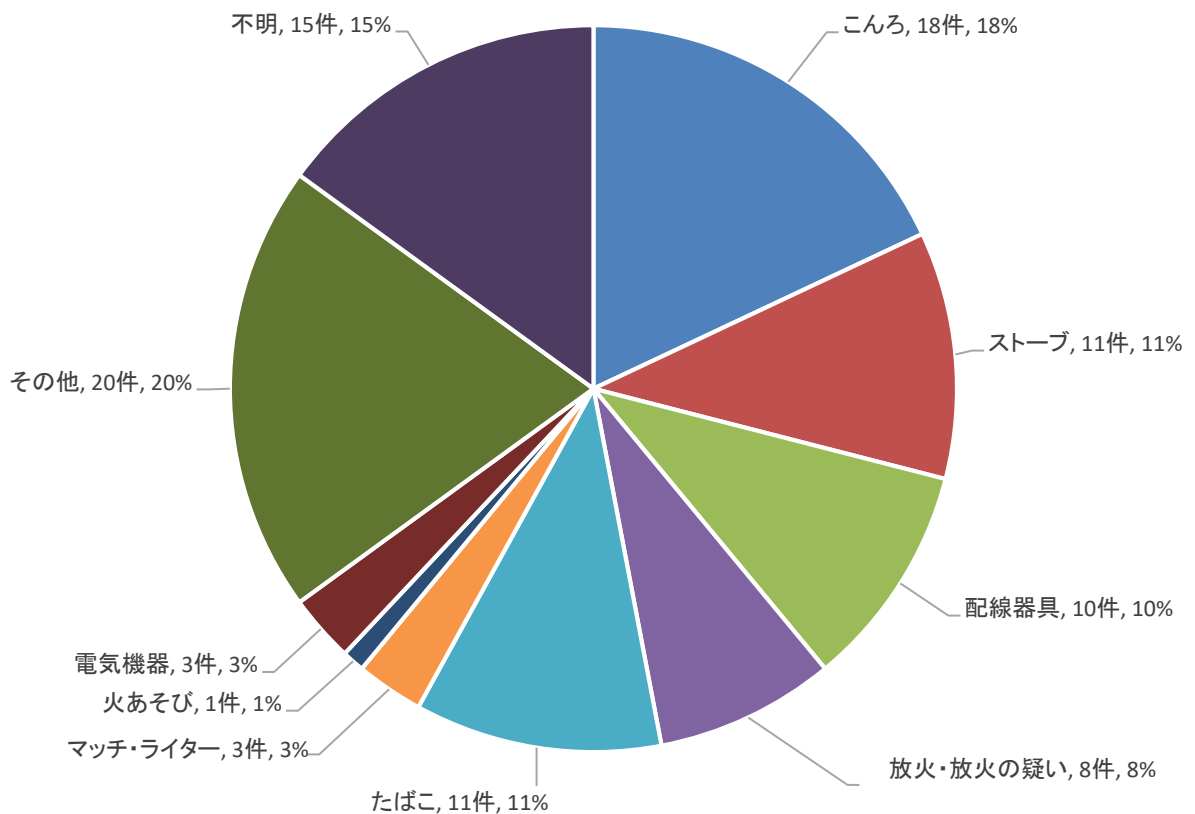


10年間の住宅火災の状況

年別	区分 出火 件数	焼損棟数					死傷者数		損害額 (千円)
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発	死者	負傷者	
平成25年	13	2	0	3	8	0	1	7	43,391
平成26年	12	3	1	7	8	0	0	5	47,663
平成27年	8	1	2	2	6	0	1	4	18,226
平成28年	12	2	2	7	5	0	0	5	36,031
平成29年	15	4	1	7	8	0	0	2	20,147
平成30年	8	3	0	0	3	0	1	3	40,875
令和元年	9	2	0	4	3	0	0	5	41,936
令和2年	10	2	1	1	6	0	0	5	24,727
令和3年	4	0	0	3	1	0	0	3	1,291
令和4年	9	5	3	5	9	0	5	4	32,926
10年間合計	100	24	10	39	57	0	8	43	307,213
10年間平均	10	2	1	4	6	0	1	4	30,721

死傷者数は放火自殺者を除く。

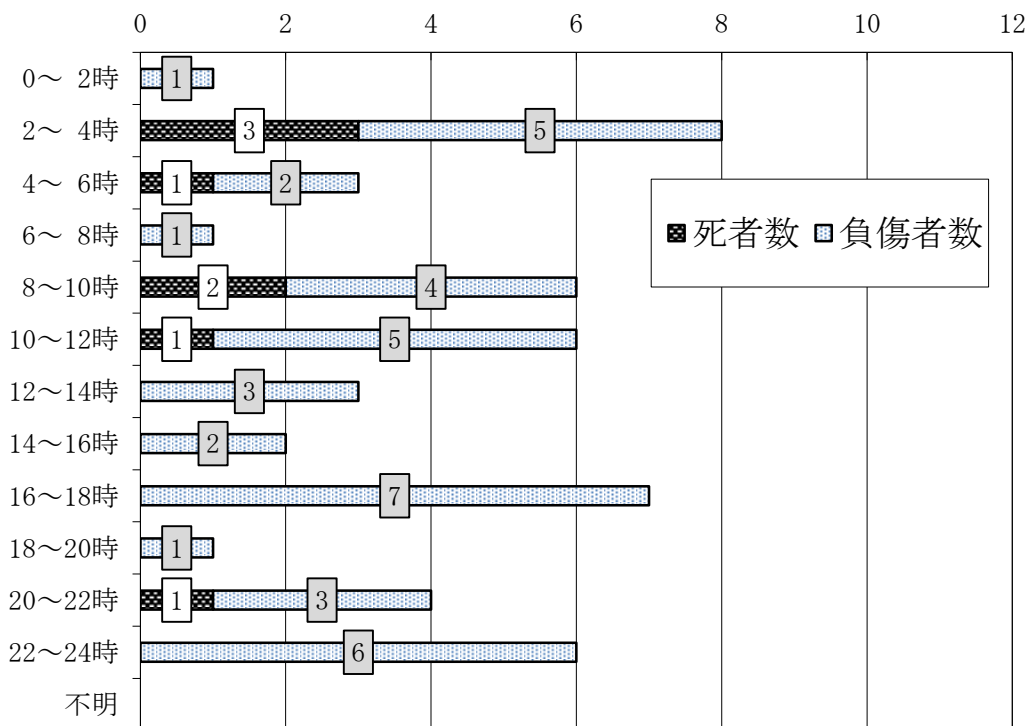
10年間の住宅火災における出火原因別件数



10年間の住宅火災における時間別死傷者数（放火自殺者を除く。）

（平成25年から令和4年まで）

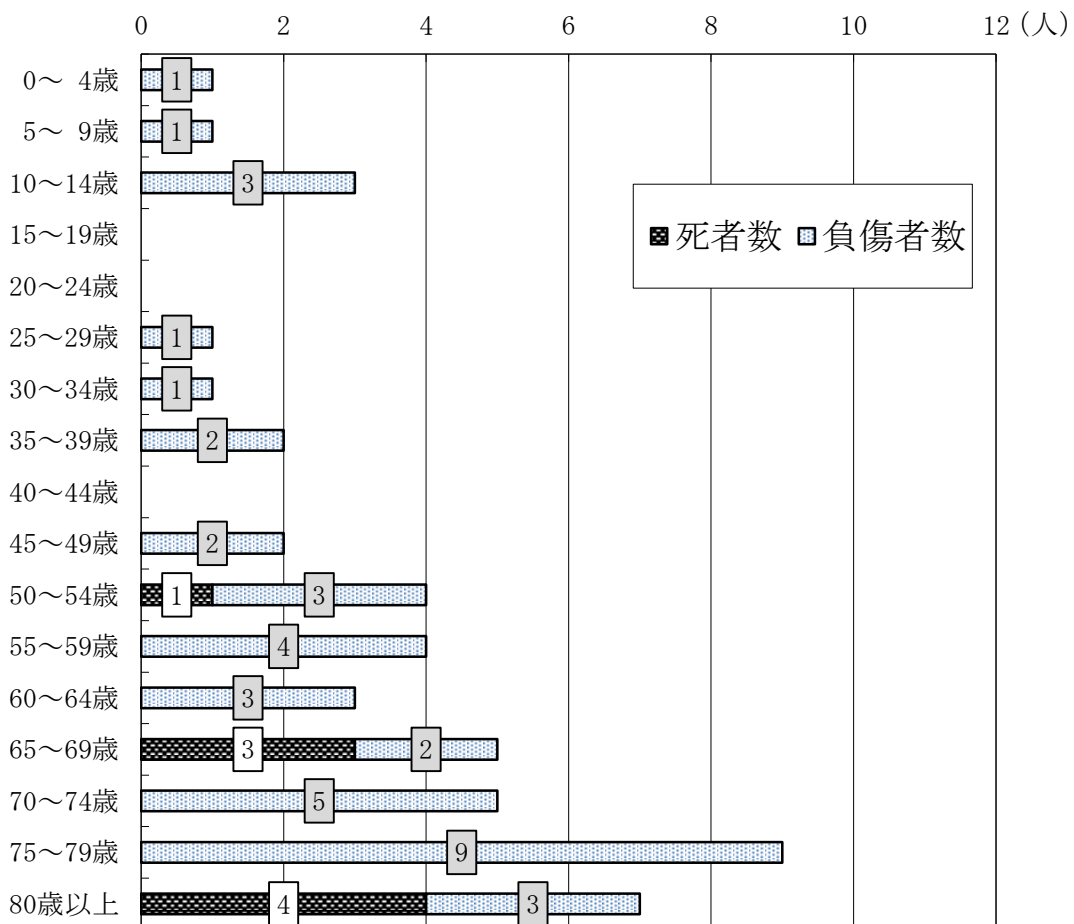
（人）



10年間の住宅火災における年齢別死傷者数（放火自殺者を除く。）

（平成25年から令和4年まで）

（人）



第5編

救急・救助統計

事故種別救急出動件数及び搬送人員

年別 事故種別	令和4年中		令和3年中		対前年比		
	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)	
急病	4,441 (4,139)	71.4 (72.1)	3,671 (3,473)	68.8 (69.6)	770 (666)	21.0 (19.2)	
一般負傷	898 (853)	14.4 (14.9)	821 (790)	15.4 (15.8)	77 (63)	9.4 (8.0)	
交通事故	334 (311)	5.4 (5.4)	331 (320)	6.2 (6.4)	3 (▲9)	0.9 (▲2.8)	
自損行為	38 (21)	0.6 (0.4)	23 (13)	0.4 (0.3)	15 (8)	65.2 (61.5)	
運動競技	48 (46)	0.8 (0.8)	33 (32)	0.6 (0.6)	15 (14)	45.5 (43.8)	
労働災害	77 (75)	1.2 (1.3)	53 (51)	1.0 (1.0)	24 (24)	45.3 (47.1)	
加害	22 (17)	0.4 (0.3)	14 (8)	0.3 (0.2)	8 (9)	57.1 (112.5)	
火災	4 (5)	0.1 (0.1)	4 (3)	0.1 (0.1)	0 (2)	0.0 (66.7)	
水難	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (-)	
自然災害	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (-)	
その他	転院搬送	281 (273)	4.5 (4.8)	307 (303)	5.8 (6.1)	▲26 (▲30)	▲8.5 (▲9.9)
	医師搬送	1 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	1 (0)	100.0 (-)
	資材搬送	14 (0)	0.2 (0.0)	32 (0)	0.6 (0.0)	▲18 (0)	▲56.3 (-)
	その他	58 (1)	0.9 (0.0)	48 (0)	0.9 (0.0)	10 (1)	20.8 (100.0)
合計	6,216 (5,741)	100.0 (100.0)	5,337 (4,993)	100.0 (100.0)	879 (748)	16.5 (15.0)	

※ 一日平均出動件数は17.0件

※ ▲は減少を示す。

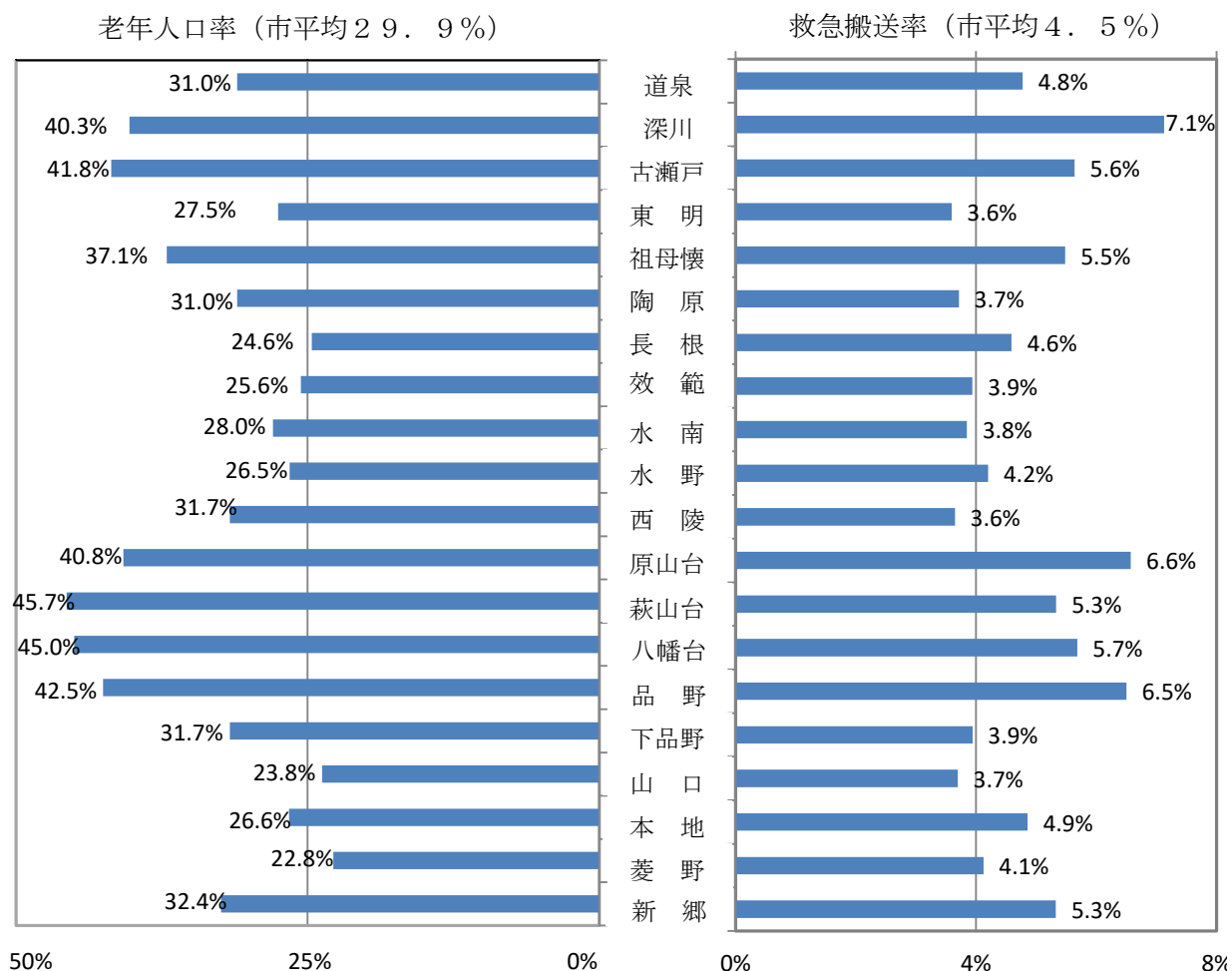
署 所 別 救 急 出 動 件 数

令和4年中

区分 署所別	合 計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他			
												転院 搬送	医師 搬送	資材 搬送	その他
消 防 署	1,733	2	0	0	92	15	13	247	4	10	1,237	95	0	1	17
東 分 署	1,042	0	0	0	62	16	11	146	2	5	763	31	0	0	6
南 分 署	1,582	0	0	0	78	21	9	241	5	9	1,145	56	0	0	18
救急対策室	1,859	2	0	0	102	25	15	264	11	14	1,296	99	1	13	17
合 計	6,216	4	0	0	334	77	48	898	22	38	4,441	281	1	14	58

連 区 別 の 老 年 人 口 率 と 救 急 搬 送 率

令和4年中



※ 老年人口率：各連区の総人口のうち65歳以上人口が占める割合
 救急搬送率：各連区の総人口のうち救急搬送された人員の割合

曜日別・月別救急出動件数

令和4年中

事故種別 曜日・月	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
月	945	0	0	0	61	9	3	148	4	4	639	77
火	929	0	0	0	58	18	5	102	0	6	681	59
水	840	1	0	0	45	12	9	135	2	6	577	53
木	853	1	0	0	41	10	3	119	6	6	610	57
金	902	1	0	0	48	16	13	136	1	7	619	61
土	860	0	0	0	36	10	9	118	4	2	653	28
日	887	1	0	0	45	2	6	140	5	7	662	19
合計	6,216	4	0	0	334	77	48	898	22	38	4,441	354
1月	506	1	0	0	25	6	1	78	0	3	368	24
2月	464	0	0	0	22	2	0	73	2	3	341	21
3月	470	0	0	0	26	3	0	61	1	3	347	29
4月	440	0	0	0	24	6	2	58	1	3	314	32
5月	518	0	0	0	29	7	7	85	3	3	348	36
6月	519	0	0	0	31	6	13	77	2	3	357	30
7月	569	1	0	0	18	18	8	83	2	6	399	34
8月	597	0	0	0	29	4	3	69	0	1	460	31
9月	464	0	0	0	32	11	2	66	2	4	322	25
10月	554	0	0	0	41	3	5	93	2	5	377	28
11月	501	1	0	0	24	7	4	63	4	1	367	30
12月	614	1	0	0	33	4	3	92	3	3	441	34

時間別救急出動件数

令和4年中

事故種別 時間帯	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
合計	6,216	4	0	0	334	77	48	898	22	38	4,441	354
0～2時	266	0	0	0	8	0	0	30	7	1	214	6
2～4時	217	0	0	0	5	0	0	19	0	0	189	4
4～6時	238	1	0	0	6	0	0	26	1	2	202	0
6～8時	478	0	0	0	29	0	0	56	1	6	380	6
8～10時	796	0	0	0	52	23	6	141	1	3	532	38
10～12時	749	0	0	0	54	17	10	96	0	2	482	88
12～14時	708	0	0	0	36	12	2	120	1	1	467	69
14～16時	640	2	0	0	41	12	15	109	0	4	414	43
16～18時	605	0	0	0	40	8	11	100	1	9	385	51
18～20時	655	0	0	0	39	2	2	87	2	4	496	23
20～22時	490	0	0	0	19	1	1	66	3	4	379	17
22～24時	374	1	0	0	5	2	1	48	5	2	301	9

傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

令和4年中

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
急 病 (構成比：%)	24 (0.6)	207 (5.0)	1,574 (38.0)	2,334 (56.4)	0 (0.0)	4,139 (100.0)
交 通 事 故 (構成比：%)	2 (0.6)	8 (2.6)	67 (21.5)	234 (75.2)	0 (0.0)	311 (100.0)
一 般 負 傷 (構成比：%)	0 (0.0)	15 (1.8)	229 (26.8)	609 (71.4)	0 (0.0)	853 (100.0)
そ の 他 (構成比：%)	2 (0.5)	26 (5.9)	292 (66.7)	118 (26.9)	0 (0.0)	438 (100.0)
合 計 (構成比：%)	28 (0.5)	256 (4.5)	2,162 (37.7)	3,295 (57.4)	0 (0.0)	5,741 (100.0)

[備考] 傷病程度区分は次によっている。

- 1 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの。
- 2 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 3 中等症 傷病程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- 4 軽 症 傷病程度が入院を必要としないもの。
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したものの。

年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

令和4年中

事故種別 年齢区分		急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計	救急搬送率 (%)
新 生 児 (構成比：%)		0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (3.7)	16 (0.3)	3.9
乳 幼 児 (構成比：%)		170 (4.1)	3 (1.0)	48 (5.6)	9 (2.1)	230 (4.0)	
少 年 (構成比：%)		120 (2.9)	41 (13.2)	34 (4.0)	41 (9.4)	236 (4.1)	1.9
成 人 (構成比：%)		1,034 (25.0)	186 (59.8)	110 (12.9)	158 (36.1)	1,488 (25.9)	2.1
高 齢 者	6 5 ~ 7 4 歳 (構成比：%)	613 (14.8)	40 (12.9)	105 (12.3)	74 (16.9)	832 (14.5)	4.8
	7 5 歳以上 (構成比：%)	2,202 (53.2)	41 (13.2)	556 (65.2)	140 (32.0)	2,939 (51.2)	13.8
	小 計	2,815 (68.0)	81 (26.0)	661 (77.5)	214 (48.9)	3,771 (65.7)	9.8
合 計 (構成比：%)		4,139 (100.0)	311 (100.0)	853 (100.0)	438 (100.0)	5,741 (100.0)	/

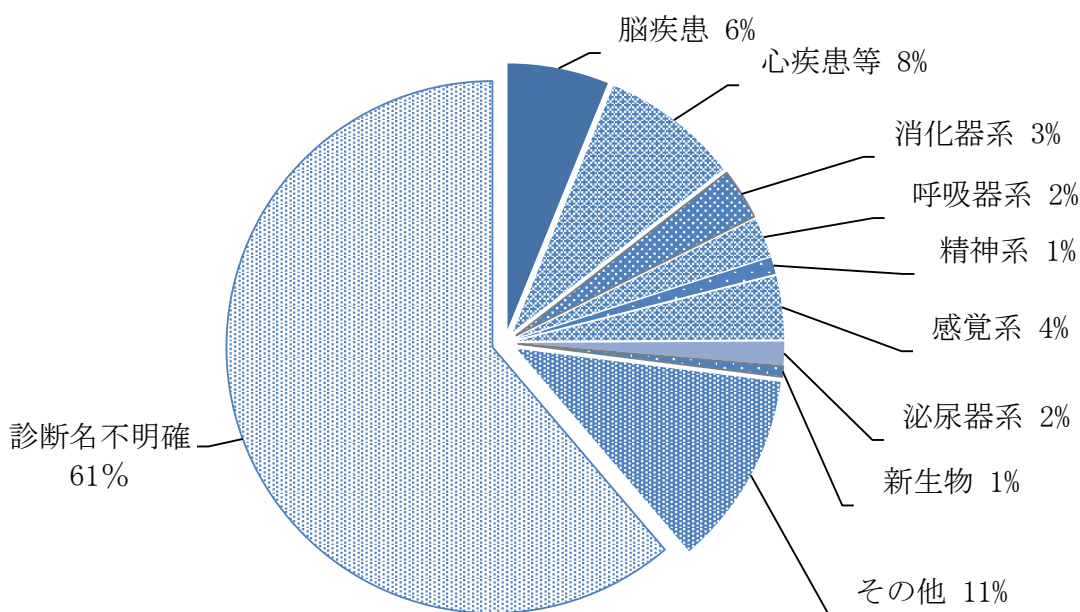
[備考] 年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

[備考] 救急搬送率は年齢区分別の総人口のうち救急搬送された人員の割合

急病にかかる疾病分類別搬送人員

令和4年中



※端数処理により内訳の和は100%になっていません。

疾病分類別	脳疾患	心疾患等	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	診断名不明確	合計
急病搬送人員	255	346	129	100	42	159	59	27	488	2,534	4,139

事故種別医療機関別搬送人員

令和4年中

救急告示区分	事故種別	急病		交通事故		一般負傷		その他		合計		
		うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	
救急医療機関	国立	45	45	1	1	5	5	12	12	63	63	
	公立	3,545	15	257	1	768	4	296	19	4,866	39	
	公的	27	27	5	5	4	4	8	8	44	44	
	私的	病院	483	471	47	44	74	62	111	109	715	686
		診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4,100	558	310	51	851	75	427	148	5,688	832		
その他の医療機関	国立	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	
	公立	8	8	0	0	0	0	5	5	13	13	
	公的	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	
	私的	病院	27	8	0	0	2	1	6	4	35	13
		診療所	1	1	1	0	0	0	0	0	2	1
計	39	20	1	0	2	1	11	9	53	30		
合計	国立	46	46	1	1	5	5	12	12	64	64	
	公立	3,553	23	257	1	768	4	301	24	4,879	52	
	公的	29	29	5	5	4	4	8	8	46	46	
	私的	病院	510	479	47	44	76	63	117	113	750	699
		診療所	1	1	1	0	0	0	0	0	2	1
計	4,139	578	311	51	853	76	438	157	5,741	862		
その他の場所	接骨院等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		4,139	578	311	51	853	76	438	157	5,741	862	

救急隊員が行った応急処置状況

令和4年中

処置	事故種別	合計				
		合計	急病	交通	一般負傷	その他
合計		24,406	17,902	1,507	3,301	1,696
止血		96	11	9	64	12
固定		263	13	159	69	22
人工呼吸		99	91	1	5	2
心マッサージ		0	0	0	0	0
	うち自動	0	0	0	0	0
心肺蘇生		147	130	3	7	7
	うち自動	62	54	0	4	4
酸素吸入		1,167	906	94	62	105
気道確保		279	249	4	13	13
	経鼻エアウェイ	5	5	0	0	0
	異物除去	31	23	0	8	0
	ラリゲアルマスク等	96	93	1	1	1
	気管挿管	2	2	0	0	0
保温		167	84	44	24	15
被覆		261	24	40	162	35
在宅療法継続		101	93	0	7	1
除細動		6	5	0	1	0
静脈路確保		20	19	0	1	0
	うちCPA前	3	3	0	0	0
	うちCPA後	16	15	0	1	0
	ブドウ糖	1	1	0	0	0
薬剤投与		16	15	0	1	0
その他		5,566	4,016	304	843	403
血圧測定		5,441	3,919	309	810	403
心音・呼吸音聴取		1,606	1,307	120	116	63
血中酸素飽和度測定		5,585	4,022	309	837	417
心電図		3,582	2,994	111	279	198
血糖測定		3	3	0	0	0
エピペン投与		0	0	0	0	0
ブドウ糖投与		1	1	0	0	0

応急手当普及啓発実施状況

年度	講習種別	救命講習		上級救命講習		応急手当講習	
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
平成5～23年度		1,290	33,738	36	688	320	13,191
平成24年度		143	3,879	2	44	18	809
平成25年度		113	3,216	3	41	11	305
平成26年度		149	3,660	2	36	2	410
平成27年度		144	3,996	3	71	11	340
平成28年度		138	3,945	2	29	3	212
平成29年度		92	3,887	1	22	5	65
平成30年度		143	4,103	2	25	8	1,177
令和元年度		120	3,152	2	32	6	597
令和2年度		16	289	1	15	1	63
令和3年度		47	919	1	3	2	81
令和4年度		175	2,115	2	28	2	32
合計		2,570	66,899	57	1,034	389	17,282

救命率の推移

(%)

年別 区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
瀬戸市	50.0	25.0	66.7	0.0	0.0
愛知県	31.8	32.6	26.7	24.9	
全 国	25.1	25.5	23.0	21.3	

※ 救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②除細動が必要な心電図波形（Vf・脈のないVT）である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

※ 令和4年中の愛知県及び全国の救命率は令和5年5月現在未発表

バイスタンダーCPR実施状況

年別		平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
目撃別	件数等	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)
	目撃	あり	57	31	54.4	55	28	50.9	59	28	47.5	46	22	47.8	58	22
なし		69	48	69.6	86	47	54.7	51	32	62.7	75	46	61.3	89	58	65.2
合計		126	79	62.7	141	75	53.2	110	60	54.5	121	68	56.2	147	80	54.4

※ バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

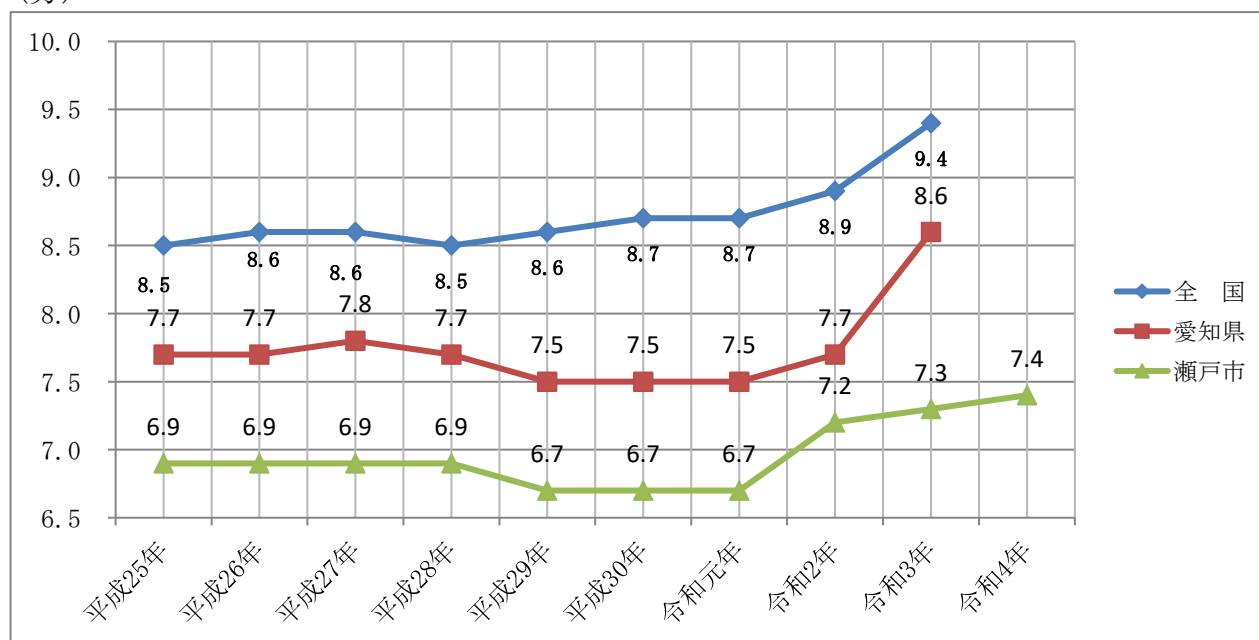
AEDステーション認定事業所数（167事業所） 令和5年4月現在

瀬戸市AEDステーション認定制度により、AED（自動体外式除細動器）を設置の上、万が一に備え応急救護体制が整備されている事業所等を「せとAEDステーション」として認定しています。（平成19年12月14日制度開始）

年度別AEDステーション認定事業所登録数

年度	H19～24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
認定数	106	5	38	1	24	2	2	1	1	0	2

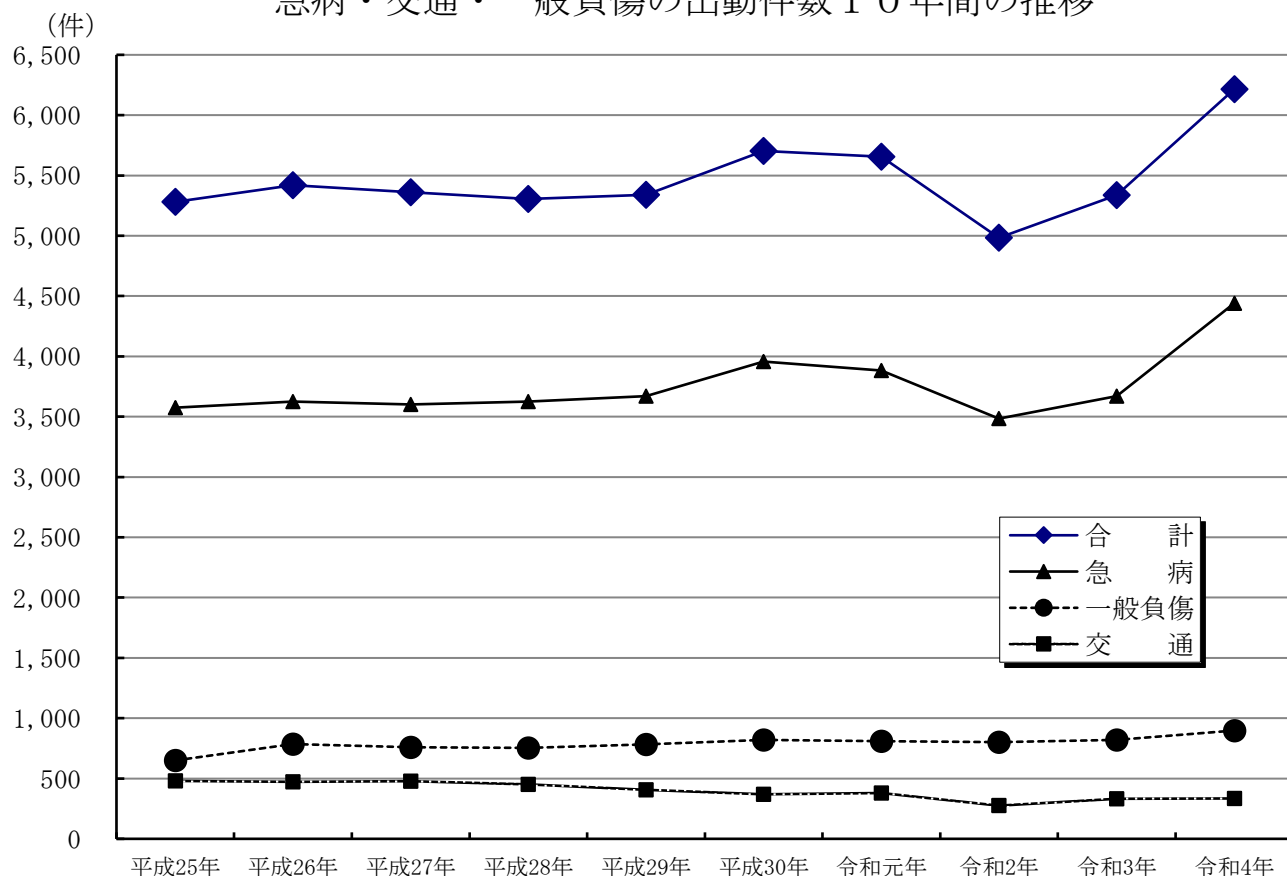
(分) 10年間の現場到着平均所要時間の推移



10年間の救急出動件数

事故種別 年 別	合 計	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	か 他 ら の 消 防 本 部 の 応 援 部
平成25年	5,280	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412	20
平成26年	5,419	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410	44
平成27年	5,360	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371	26
平成28年	5,304	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	310	23
平成29年	5,340	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	316	14
平成30年	5,703	5	0	0	368	69	52	820	12	34	3,958	385	6
令和元年	5,655	10	0	0	380	46	38	809	16	56	3,882	418	10
令和2年	4,983	5	0	0	275	37	30	803	16	30	3,484	303	15
令和3年	5,337	4	0	0	331	53	33	821	14	23	3,671	387	10
令和4年	6,216	4	0	0	334	77	48	898	22	38	4,441	354	10

急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移



事 故 別 救 助 出 動 状 況

令和4年中

事故種別 件数・車両	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 欠 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
出 動 件 数	92	0	0	11	0	0	1	63	0	0	17
活 動 件 数	48	0	0	4	0	0	0	33	0	0	11
救 助 人 員	50	0	0	4	0	0	0	31	0	0	15
出 動 人 員	1,213	0	0	166	0	0	14	784	0	0	249
出 動 車 両	救助工作車	85	0	0	11	0	0	56	0	0	18
	ポンプ車	102	0	0	12	0	0	69	0	0	19
	はしご車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学車	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	指揮車	91	0	0	11	0	0	1	61	0	18
	救急車	98	0	0	17	0	0	1	63	0	17
	その他	8	0	0	0	0	0	1	0	0	7
	合 計	386	0	0	51	0	0	5	250	0	0

連 区 別 救 助 出 動 件 数

令和4年中

事故種別 連区別	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 欠 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
合 計	92	0	0	11	0	0	1	63	0	0	17
道 泉	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
深 川	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
古 瀬 戸	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
東 明	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
祖 母 懐	4	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
陶 原	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
長 根	4	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0
效 範	13	0	0	0	0	0	0	11	0	0	2
水 南	4	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0
水 野	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
西 陵	8	0	0	0	0	0	0	5	0	0	3
原 山 台	11	0	0	2	0	0	0	2	0	0	7
萩 山 台	7	0	0	1	0	0	0	4	0	0	2
八 幡 台	4	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
品 野	7	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0
下 品 野	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1
山 口	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
本 地	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
菱 野	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
新 郷	5	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2
管 外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

発 生 場 所 別 救 助 人 員

令和4年中

事故種別 発生場所		合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 及 び 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
合 計		50	0	0	4	0	0	0	31	0	0	15
屋 内	住 居	31	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0
	その他の屋内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋 路	高 速 道 路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の道路	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
外	水 面	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	山 岳	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	その他の屋外	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
地 下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1 0 年 間 の 救 助 出 動 件 数

事故種別 年別		合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 及 び 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
平 成 2 5 年		67	1	1	30	1	0	1	21	1	0	11
平 成 2 6 年		71	0	0	30	0	0	1	23	0	0	17
平 成 2 7 年		72	1	0	20	0	0	3	34	3	0	11
平 成 2 8 年		54	1	0	17	0	0	1	25	0	0	10
平 成 2 9 年		64	0	0	15	1	0	1	31	1	0	15
平 成 3 0 年		80	1	0	12	1	0	2	51	1	0	12
令 和 元 年		82	0	0	20	0	0	2	47	0	0	13
令 和 2 年		73	0	0	10	2	0	2	47	0	0	12
令 和 3 年		94	1	0	9	0	0	0	60	0	0	24
令 和 4 年		92	0	0	11	0	0	1	63	0	0	17

第6編

通信・気象

消防指令センターの主な施設状況

令和5年4月1日現在

施 設 名	数	施 設 名	数
指令台(Ⅱ型)	1式	回線制御装置	1式
地図等検索装置	1式	指令伝送送信装置	1式
指令制御装置	1式	音声合成装置	1式
非常用指令設備	1式	電源装置	1式
自動出動指定装置	1式	災害状況等案内装置	1式
順次指令装置	1式	データ修正装置	1式
録音装置	1式	無線統制台	1式
出動車両運用管理装置	1式	駆け込み通報電話	1式
位置情報通知装置(統合型)	1式	システム監視装置	1式
119番通報受信用FAX	1台	消防用高所カメラ画像表示・録画装置	1式
119番プロトコール装置	1式	高所カメラ施設	1式
車両運用表示盤	1式	庁舎監視カメラ装置	1式
多目的情報表示板	1式	気象情報収集装置	1式
支援情報表示盤	1式	基地局無線機	1式
災害情報収集装置	1式	県防災行政無線設備	1式
ファイル共有システム	1式	衛星携帯電話	1台
指令情報出力装置	1式	愛知県高度情報通信ネットワーク端末	1式
eメール119番用PC(NET119含む)	1式		

月別119番受信状況(受信時の種別)

令和4年中

種別	月別												
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	7,627	624	584	563	524	644	656	694	685	593	683	644	733
火 災	64	7	13	1	5	4	11	2	7	0	4	7	3
救 急	5,971	476	455	449	428	511	483	549	559	450	539	482	590
救 助	79	8	3	4	7	4	8	11	5	13	5	4	7
警 戒	91	20	7	5	2	7	17	9	4	3	7	7	3
災 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問 い 合 わ せ	371	39	23	27	16	34	30	30	33	32	33	30	44
い た ず ら	13	0	4	0	0	3	0	1	0	1	2	0	2
誤 操 作 他	456	38	38	27	33	25	44	56	46	31	43	31	44
訓 練	307	7	17	32	21	28	42	14	14	34	33	38	27
試 験	275	29	24	18	12	28	21	22	17	29	17	45	13

無線施設状況

消防署

令和5年4月1日現在

署所	型式	種別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力	
消防署	デジタル	防災行政用	ぼうさいせとしょうぼう	指令センター	260MHz	5W	
		消防用基地局	せとあさひしれい		270MHz 活動波1・2・3 主運用波	10W	
					270MHz 統制波1・2・3	5W	
		消防用陸上移動局	車載型	せと 1	ポンプ車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
				せと 2	タンク車		
				せと 3	化学車		
				せと 10	ポンプ車		
				せと 32	梯子車		
				せと 43	救助工作車		
				せと 51	指揮車		
				せと 52			
				せと 61	広報車		
				せと 62			
				せと 71	輸送車		
				せと 73	消防団活動車		
				せと 74	査察車		
				きゅうきゅうせと 1	救急車		
				きゅうきゅうせと 2			
		可搬型	せと 53	指揮車			
			せと 54				
			せと 55				
			せと 81	通信指令室			
			せと 82	消防署			
携帯型	せと 100	携帯用					
	せと 101						
	せと 102						
	せと 110						
	せと 111						
	せと 121						
	せと 131						
	せと 199	救急車					
せと 299	救急車						
アナログ	署活動用無線	携帯型	せと400番台18機	携帯用	400MHz	1W	
救急対策室	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	きゅうきゅうせと 6	救急車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
			可搬型	せと 85	救急対策室		
			携帯型	せと 141	携帯用		
	せと 699	救急車	5W				
アナログ	署活動用無線	携帯型	せと400番台3機	救急車	400MHz	1W	

署所	型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力		
東分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 6	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W	
				せと 8	ポンプ車			
				せと 75	輸送車			
				せと 76	査察車			
				せと 77	水槽車			
			きゅうきゅうせと 3	救急車				
			可搬型	せと 83	東分署		携帯用	5W
			せと 210					
			せと 211					
			せと 212					
	せと 221							
	せと 399	救急車						
	アナログ	署活動用線無	携帯型	せと500番台10機	携帯用	400MHz	1W	
	南分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 5	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
せと 9					ポンプ車			
せと 31					空中活動車			
せと 64					広報車			
せと 72					積載車			
きゅうきゅうせと 5				救急車				
可搬型				せと 84	南分署	携帯用		5W
せと 310								
せと 311								
せと 312								
せと 321								
せと 599		救急車						
アナログ		署活動用線無	携帯型	せと600番台10機	携帯用	400MHz	1W	

消防団

分団	型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力
道 泉	デジタル	消防用陸上移動局	せとどうせん	携帯用	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	5W
深 川			せとふかがわ			
古瀬戸			せとこせと			
東 明			せととうめい			
祖母懐			せとそばかい			
陶 原			せととうげん			
效 範			せとこうはん			
水 南			せとすいなん			
水 野			せとみずの			
下品野			せともしなの			
品野台			せとしなのだい			
幡 山			せとはたやま			
山 口			せとやまぐち			

長大トンネル

場所	型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力
愛岐トンネル	デジタル	消防用基地局	せとしょうぼう	無線通信補助設備	270MHz	5W
猿投山トンネル			あいぎとんねる せとしょうぼう さなげやまとんねる			

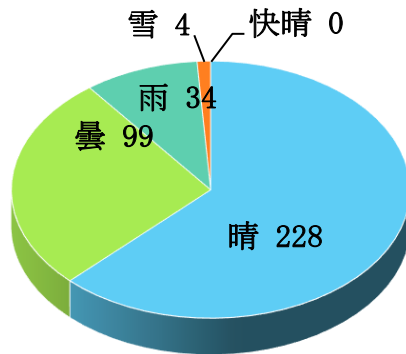
月別気象状況

令和4年中

項目	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	年間平均
風向	平均	NNW 2.3	NW 2.2	NNW 2.3	NNW 2.3	ENE 2.1	S 2.1	S 2.1	ENE 2.0	S 2.3	NNW 1.6	ENE 1.7	NNW 2.1		2.1
	最高	NNW 9.5	WNW 9.2	NNW 8.8	NW 9.9	NNW 8.3	NW 9.3	S 7.3	WNW 10.1	SSE 12.5	NE 8.5	SSE 8.9	WNW 9.3		
風速 m/s	瞬間最大	NW 18.3	NW 17.7	WNW 16.4	NW 16.0	NW 13.9	NW 15.7	SSE 12.7	SW 21.4	SSE 23.6	NE 14.0	SSE 16.1	WNW 17.2		
	平均	3.3	3.6	10.2	16.2	18.9	23.8	27.0	27.9	25.6	17.9	14.0	5.7		16.2
気温 ℃	最高	14.4	13.9	22.1	29.1	33.3	38.3	38.5	37.8	34.8	30.7	23.5	15.9		
	最低	-3.7	-3.5	-1.5	2.6	6.2	12.2	21.2	20.5	16.9	6.6	5.9	-3.0		
湿度 %	平均	63.5	66.8	59.7	65.8	61.9	71.1	75.6	75.6	73.5	64.8	66.8	67.0		67.7
	最低	23.3	22.2	13.3	10.8	13.6	19.4	28.8	31.1	31.9	16.1	23.8	19.4		
降雨 mm	降水日数	3	5	6	10	11	9	17	19	17	5	9	5	116	
	総降水量	23.0	30.0	69.0	114.0	141.0	105.5	336.5	214.5	291.0	52.5	87.5	17.5	1,482.0	
	10分間最大	1.0	1.0	6.0	3.0	10.5	3.0	10.5	12.5	11.5	1.5	2.5	0.5		
	1時間最大	4.5	3.5	11.5	12.0	19.5	10.5	32.0	23.5	41.5	5.0	6.0	2.0		
	最大日雨量	12.0	12.0	30.5	34.0	51.0	37.5	60.0	35.0	94.5	23.5	28.5	7.0		
降雪 cm	降雪日数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
	総積雪量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	
	最高積雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

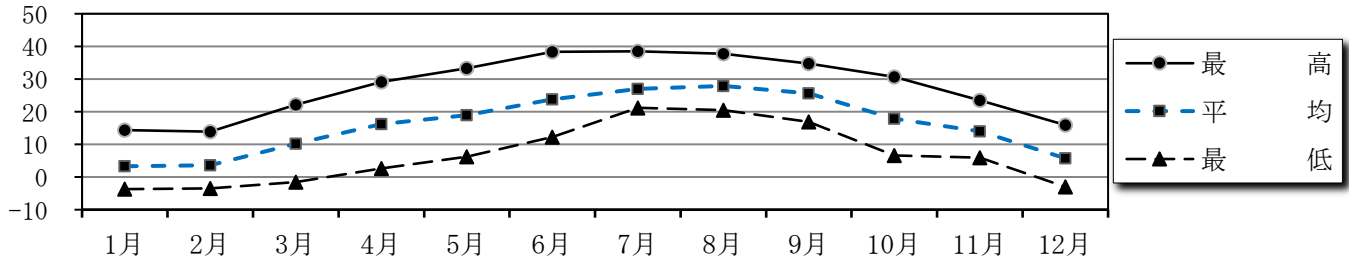
※「降雪cm」は1cm以下切り捨て

天候別日数

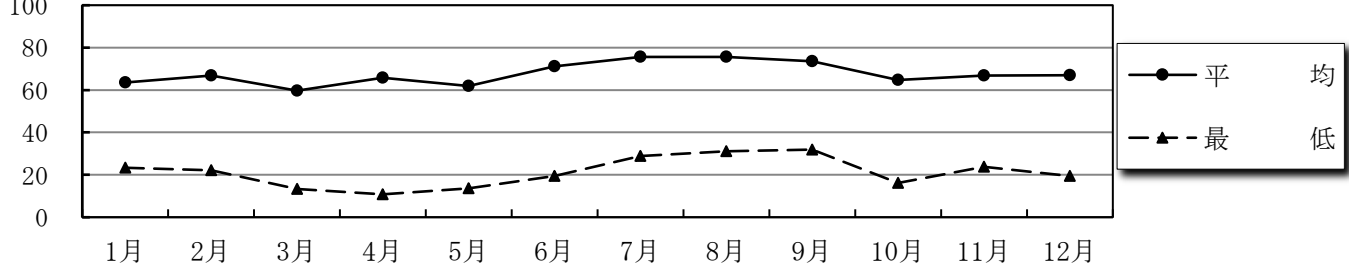


令和4年中、各日午前9時時点での目視による観測結果を天候別に集計
※ 観測地は消防本部(単位:日)

月別気温状況 (°C) 令和4年中



月別湿度状況 (%) 令和4年中



第7編

資料

瀬戸市の消防の沿革

明治 23 年 5 月	東春日井郡瀬戸村に2部編成定員100名をもって消防組を発足
明治 27 年 2 月	勅令及び県令により公設消防を組織し、瀬戸町せ組・と組で構成
明治 29 年 7 月	今村地区に私設消防組を設立
明治 39 年	幡山村に私設消防組を設立
大正 2 年	瀬戸町せ組・と組を公設消防第1部・第2部に改称（水野村に私設消防組設立、品野村に消防組を編成）
大正 7 年	瀬戸町公設消防組に第3部を増加編成
大正 12 年 2 月	水野村上水野消防組が公設消防組に認可
大正 14 年	赤津村公設消防組を瀬戸町公設消防組に編入し、第4部に増加編成
大正 15 年 12 月	水野村中水野、下水野消防組が公設消防組に認可、安土・南山・曾野私設消防組編成
昭和 4 年 10 月	市制施行に伴い瀬戸市消防組と改編、4部108名で構成
昭和 14 年 4 月	瀬戸市警防団本部常備消防部として発足し、警防団6分団、総員900名、消防ポンプ車5台、三輪ポンプ車1台、腕用ポンプ5台を配備、戦中は防空業務に活躍
昭和 22 年 10 月	警防団本部常備消防部を解散し、同時に瀬戸市常備消防部として発足、業務開始
昭和 26 年 5 月	東春日井郡水野村との合併に伴い、水野村消防団を統合
8 月	瀬戸市消防本部設置
昭和 28 年 2 月	集中豪雨による防災活動の功績により、建設大臣表彰を受ける。
4 月	隣接品野町の大火による応援消防活動の功績により、愛知県消防協会長表彰を受ける。
昭和 30 年 2 月	愛知郡幡山村との合併に伴い、幡山村消防団を統合
昭和 32 年 2 月	消防施設の充実により、日本消防協会長表彰を受ける。
4 月	瀬戸市危険物安全協会設立
昭和 33 年 1 月	集中豪雨による防災、人命救助活動等の功績により、愛知県消防協会長表彰で竿頭綬を受ける。
3 月	同上により、国家消防本部長表彰を受ける。
昭和 34 年 1 月	自治体消防発足10周年記念により、愛知県消防協会長表彰で竿頭綬を受ける。
4 月	品野町との合併に伴い、品野町消防団を統合
7 月	瀬戸市消防音楽隊を発足
10 月	消防中短波無線局の設置（基地1、移動2、携帯2）
12 月	伊勢湾台風（15号）の復旧活動の功績により、中部日本災害対策本部長表彰を受ける。
昭和 35 年 4 月	消防団1団、13分団329名で構成
9 月	瀬戸市消防署設置
昭和 36 年 4 月	常備消防力の増強を図り、13分団289名に減員
6 月	ロータリークラブより1B型救急車の寄贈を受け、救急業務を開始
昭和 37 年 3 月	消防庁告示による常設中心主義を目標とし、消防庁舎新築工事着手
4 月	瀬戸市火災予防条例の施行
10 月	消防庁舎竣工
昭和 40 年 3 月	瀬戸信用金庫から1B型救急車の寄贈を受け、2台体制による業務開始
8 月	中短波無線を超短波無線に更新（基地1、移動3）
9 月	市役所の愛知県行政無線を消防本部に移管
昭和 41 年 4 月	消防団の定員を12分団267名に減員
昭和 43 年 1 月	化学消防ポンプ自動車配備
5 月	瀬戸市指定水利規程の施行
6 月	瀬戸市火災警報規則の施行
昭和 44 年 3 月	消防力の充実により、消防庁長官から竿頭綬を受ける。
昭和 45 年 4 月	消防署救助隊の発足
9 月	防災体制の確立、防災思想の普及等の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
昭和 46 年 9 月	市内で発生した都市ガス漏洩事故の災害防ぎょ活動の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
11 月	同上により、愛知県知事表彰を受ける。
12 月	新消防庁舎新築工事着手
昭和 47 年 8 月	新消防庁舎竣工 消防本部、消防署は新庁舎に移転し、旧庁舎は東分署として消防業務開始
	15m級屈折梯子付消防ポンプ車を本署に配備
昭和 48 年 5 月	瀬戸尾張旭当直医問合わせテレホンサービスの開始

昭和 49 年	2 月	救助工作車を東分署に配備
	4 月	消防本部に総務課を設置
	6 月	愛知県防災行政無線の整備計画による防災行政無線装置の更新工事完了
昭和 50 年	10 月	定光寺に火気使用制限区域の設定
	12 月	保育器の使用による未熟児搬送に関し、瀬戸旭医師会と救急業務実施協定の締結
昭和 52 年	6 月	瀬戸信用金庫から 2 B 型救急車の寄贈を受け、東分署に配備
	7 月	瀬戸市自衛消防連絡協議会設立
	11 月	3 0 m 級梯子付消防ポンプ車を消防署に配備 1 5 m 級屈折梯子付消防ポンプ車を東分署に配備
昭和 53 年	3 月	自治体消防発足 3 0 周年記念大会の開催 瀬戸社会福祉事業協力会から査察車兼広報車（軽四輪）の寄贈を受け、消防署に配備
昭和 54 年	12 月	消防救急指令装置 B 型及び地図検索装置の導入
昭和 55 年	10 月	消防水利整備計画に耐震性貯水槽（4 0 m ³ ）の設置を策定
昭和 56 年	9 月	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ車（給水装置付）の寄贈を受け、消防署に配備
	10 月	日本消防協会から 2 B 型救急車の寄贈を受け、消防署に更新配備 消防署三部制勤務の試行開始
昭和 58 年	4 月	消防署三部制勤務の開始 小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に配備
	10 月	化学消防ポンプ車を東分署に配備し、旧車両を消防署に配備
昭和 59 年	3 月	大型照明電源車を消防署に配備
昭和 60 年	3 月	水南分団詰所を移転新築
	8 月	現場指揮本部等の体制強化を図るため、消防署に指令車を増強配備
	10 月	陶原分団詰所を移転新築
昭和 61 年	6 月	愛知県防災行政無線の災害通信メディア体系を整備し、防災行政事務に関する通信網を改善
	12 月	火災救急統計用のパソコンを導入
昭和 62 年	1 月	上品野分団を品野台分団に名称変更
	2 月	火災情報テレホンサービスの開始
昭和 63 年	3 月	品野台分団詰所を移転新築 防火思想の普及、消防施設の整備等の功績により、消防庁長官から表彰旗を受ける。
平成 元 年	3 月	自治体消防発足 4 0 周年記念大会の開催
	4 月	瀬戸市婦人消防隊連絡協議会設立
	10 月	品野町 1 丁目に東分署移転新築、旧庁舎は南出張所として消防業務を開始
平成 2 年	3 月	消防緊急情報システムの運用開始 救急波消防無線の導入整備
	11 月	第 8 回愛知県防火推進大会の開催
平成 3 年	2 月	団資機材搬送車を水野分団に配備
	3 月	南出張所を南分署に名称変更、南分署庁舎新築
	10 月	団資機材搬送車を幡山分団に配備 救助工作車を消防署に配備し、旧車両を東分署に配備
	11 月	3 8 m 級梯子付消防自動車を消防署に配備し、旧車両を南分署に配備 消防団が消防活動の充実等の功績により、愛知県消防協会長から特別功績旗を受ける。
平成 4 年	3 月	東明分団詰所を移転新築
	7 月	団資機材搬送車を東明分団に配備
	10 月	消防署指令車を更新配備 1 8 m 級梯子付消防自動車を東分署に更新配備 第 8 回全国婦人消防操法大会に愛知県代表として瀬戸市婦人消防隊が出場（横浜市）
平成 5 年	4 月	消防本部に予防課、消防署に救急係を設置
	9 月	救急高度化推進計画に基づき、高度化資器材の一部を配備
	10 月	水 II 型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成 6 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	3 月	団資機材搬送車を下品野分団に配備
	4 月	東分署に救急係を設置
	7 月	第 3 9 回愛知県消防操法大会を市民公園陸上競技場で開催
	11 月	水 II 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備

平成 7 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	10 月	高規格救急車を消防署に更新配備 防災資機材地域備蓄倉庫新築
平成 8 年	1 月	自衛消防隊と大規模災害時における消防業務協定締結（19事業所）
	2 月	普通救命講習会の実施
	3 月	水Ⅱ型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
	12 月	高規格救急車を東分署に更新配備
平成 9 年	1 月	下品野分団詰所を新築
	4 月	南分署に救急係を設置
	12 月	30m級梯子付消防自動車を南分署に更新配備
平成 10 年	1 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を祖母懐分団に更新配備
	9 月	自治体消防発足50周年記念大会の開催 高規格救急車を南分署に更新配備
平成 11 年	4 月	自主防災リーダー委嘱開始
	11 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を深川分団に更新配備
	12 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
平成 12 年	4 月	瀬戸市少年消防クラブ設立
	5 月	二市一町救急業務連絡協議会の設立
	10 月	公立陶生病院にて救急隊臨床実習を開始 C D—I 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備 C D—I 型消防ポンプ自動車を古瀬戸分団に更新配備
	12 月	消防緊急通信指令施設を更新し、運用開始、発信地表示装置を導入 消防指揮車を消防署に更新配備
平成 13 年	1 月	消防本部庁舎の耐震工事の施工（仮眠室個室化）
	3 月	名古屋市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	7 月	消防本部公式ホームページの開設
	11 月	救急隊病院内臨床実習・医師救急車同乗研修（ワークステーション）の開始
平成 14 年	3 月	瀬戸市消防本部シンボルマークを「ファイ太くん」に決定 消防職員に災害情報メールの配信開始
	4 月	応急手当普及推進計画（普通救命講習目標年間3,000人）の開始
	5 月	消防団員に災害情報メールの配信開始
	10 月	生物・化学テロ対策として消防庁から資機材を受領（化学防護服・除染シャワー・各種検知資機材） 東分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	12 月	聴覚障害者を対象に災害情報メールの配信開始
平成 15 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を品野台分団に更新配備 消防署住民票取次ぎサービス開始 祖母懐公民館に100㎡耐震性貯水槽を設置
	3 月	祖母懐分団詰所を移転新築
	4 月	副団長3名制、団員入団資格を市内在住・在勤に拡大
	6 月	公立陶生病院「救急業務高度化推進業務委託契約」締結
	8 月	愛知医大「救急業務高度化推進業務委託契約」締結 救急隊包括的指示除細動運用開始
	10 月	小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に更新配備 小型動力ポンプ付水槽車（10t）を東分署に配備 愛知県・瀬戸市総合防災訓練（林野火災）を実施 （2005年日本国際博覧会東ターミナルゾーン予定地）
	12 月	瀬戸市消防団ラッパ隊発足 消防高所監視カメラ運用開始
平成 16 年	2 月	南分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	3 月	「救命手当てのできる店」を発足
	10 月	二市一町救急業務連絡協議会BCテロ災害対応訓練を実施
	11 月	市内公共施設（4箇所）にAEDを設置（県内初）
平成 17 年	2 月	消防自動二輪車（赤バイ）を日本消防協会から寄贈を受ける（3台） 消防自動二輪車隊（赤バイ隊）を発足 C D—I 型消防ポンプ自動車を東明分団に更新配備

	3月	女性消防団員（15名）を採用 愛知万博総合防災訓練を実施 東海環状自動車道総合防災訓練を実施（6消防本部合同） 瀬戸市消防署万博分署設置（万博期間中）
	9月	瀬戸市消防署万博分署を閉署
	10月	財団法人2005年日本国際博覧会協会から救急自動車の寄贈を受け東分署に更新配備 携帯電話による119番直接受信開始
平成18年	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水南分団に更新配備 災害支援消防団員（OB団員）を任命（12名）
	3月	市道拡張工事に伴い、効範分団詰所を移転新築 尾張旭市及び長久手町と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	4月	消防本部1課体制へ移行、グループ制を導入
	5月	春日井市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	8月	岐阜県土岐市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結 輸送車（パワーゲート付）を消防署に更新配備
	9月	岐阜県多治見市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	11月	救助工作車II型を消防署に更新配備
平成19年	2月	38m級梯子付消防自動車を廃車し、30m級と18m級の梯子付消防自動車2台体制に変更
	4月	消防署グループ制を導入
	5月	特別救急隊の運用開始（毎週木曜日）
	11月	CD-I型消防ポンプ自動車を下品野分団に更新配備
	12月	瀬戸市AEDステーション認定制度創設
平成20年	8月	広報車を南分署に更新配備
	10月	輸送車（パワーゲート付）を東分署に配備
	11月	団資機材搬送車を水野分団に更新配備
平成21年	3月	水II型消防ポンプ自動車（クラスA消火泡混合装置付）を消防署に更新配備
	7月	特別救急隊の運用日拡充（火、木曜日）
	8月	査察車を東分署に更新配備
	10月	団資機材搬送車を幡山分団に更新配備
	11月	消防団安全安心パトロール開始
平成22年	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	4月	特別救急隊の運用日拡充（火、水、木、金曜日）
	7月	団資機材搬送車を東明分団に更新配備 救急安心たまご事業を開始
	8月	高規格救急車を消防署に更新配備
	10月	ガンバレ消防団応援事業所創設
平成23年	1月	CD-I型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	3月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を南分署に更新配備
	5月	特別救急隊の運用日拡充（月～金曜日） 幼年消防クラブ設立
	12月	CD-I型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成24年	2月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を東分署に更新配備 団資機材搬送車を下品野分団に更新配備
	3月	高規格救急車を南分署に更新配備
	7月	ハートフル講座を開始
	11月	消防団訓練場を開設 わんわん消防隊結成式を開催
	12月	瀬戸・尾張旭消防指令センターの運用開始
平成25年	2月	塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	高規格救急車を消防署に更新配備
	12月	消防団応援サポーター制度開始
平成26年	1月	新救急ワークステーション施設運用開始 塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	消防救急デジタル無線の運用開始 空中活動消防車を南分署にはしご車の更新車両として配備

	4月	地域防災担当制を導入
	10月	御嶽山の噴火災害に係る緊急消防援助隊派遣
平成 27 年	2月	広報 61 号車を愛知県共済生活協同組合から寄贈を受ける
	3月	道泉分団詰所の竣工
	5月	瀬戸市消防団による大学生等活動認定制度開始
	7月	公共施設 AED の屋外設置開始（県内初）
	10月	消防署全署所のオールトップ勤務開始（通信を除く） 救急ワークステーション 24 時間体制の運用開始
	12月	緊急通報メール 119 番の受信業務開始
平成 28 年	2月	指揮車を消防署に更新配備
	3月	高規格救急車を東分署に更新配備 救急隊 4 名出場開始
	4月	山口分団詰所の竣工。山口分団車及び搬送 6 号車（消防庁無償貸付）の配備 消防署救急対策室を設置 山口分団、女性分団の設立
	10月	緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練の実施
	12月	住宅密集区域火災における出動体制を増強
平成 29 年	2月	深川連区無火災 1, 000 日達成。市長特別感謝状を授与
	3月	CD-I 型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備 深川分団詰所の竣工
	5月	災害時協力事業所登録制度の創設
	6月	消防本部ハラスメント防止宣言 住宅防火普及員認定制度の創設
	8月	瀬戸市危険物安全協会から無人航空機及び三輪バイクの寄贈を受け、消防署に配備
	10月	児童優秀防火作品による防火カレンダー作製
平成 30 年	1月	CD-I 型消防ポンプ自動車を祖母懐分団に更新配備
	3月	輸送車（パワーゲート付）を積載車の更新車両として南分署に配備 高規格救急車を 1 台増強
	4月	消防署 1 隊増強（消防担当新設） 三市消防団連絡協議会発足
	5月	尾三消防本部と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	7月	違反対象物の公表制度開始 第 1 次出動車両全車両にドライブレコーダーを装備
	8月	消防新庁舎整備事業用地を取得（今池町） ハラスメント防止に関する指針策定
	10月	広報車を消防署に更新配備 尾張旭市と全国初の消防行政の連携・協力に関する協定を締結
	12月	化学 II 型消防ポンプ自動車（全自動泡消火薬剤混合装置付）を消防署に更新配備 日本消防協会から消防団活動車の寄贈を受け消防署に配備
平成 31 年	2月	査察車を消防署に更新配備 八幡台連区無火災 1, 000 日達成。市長特別感謝状を授与
	3月	団資機材搬送車を品野台分団に更新配備
	4月	瀬戸市住宅用火災警報器適正配置促進事業（全世帯訪問調査）を開始 119 番通報受信時に、多言語に対応できる三者間同時通訳システムを運用開始
令和 元 年	5月	消防団応援サポーターに漫画家の中島みるくさんが就任
	11月	西陵連区無火災 1, 000 日達成。市長特別感謝状を授与 第 24 回全国女性消防操法大会において、女性分団が 8 位に入賞し、優良賞を受賞
令和 2 年	3月	CD-I 型消防ポンプ自動車を道泉分団に更新配備
	7月	NET 119 緊急通報システム運用開始
	11月	CD-I 型消防ポンプ自動車を深川分団に更新配備
令和 3 年	1月	CD-II 型消防ポンプ自動車を消防署に更新配備
	2月	瀬戸市消防本部の PR 動画を作成 指揮車を消防署に更新配備
	3月	高規格救急自動車を消防署に更新配備
	7月	静岡県熱海市土石流災害に係る緊急消防援助隊派遣

	10月	梯子車を消防署に更新配備
	11月	CD-I型消防ポンプ車を古瀬戸分団に更新配備
令和4年	1月	萩山連区無火災1,000日達成。市長特別感謝状を授与
	2月	CD-I型消防ポンプ車を南分署に更新配備
	3月	高規格救急自動車を消防署に更新配備
		道泉連区無火災1,000日達成
		水南連区無火災1,000日達成
	8月	深川連区無火災1,000日達成
	9月	消防署、消防団のインスタグラムの運用を開始
	10月	消防団に対する費用弁償制度を出勤報酬制度へ変更
令和5年	3月	消防団にチェンソー等の救助資機材を配備

消 防 相 互 応 援 協 定

消防組織法第39条第2項の規定に基づき、消防の相互応援について次のとおり協定を締結している。

	締結先機関名	協定締結年月日	摘 要
愛 知 県	尾張旭市	昭和27年11月28日	隣接市との応援協定
	春日井市	昭和39年10月1日	〃
	豊田市	昭和43年8月1日	〃
	名古屋市	昭和53年6月1日	〃
	尾三消防本部	平成30年4月1日	〃
	全市町村	平成2年4月1日	県内広域応援協定
	名古屋市他23消防本部 一部事務組合	平成28年3月15日	愛知県下高速道路における 消防相互応援協定
岐 阜 県	多治見市	昭和44年2月1日	隣接市との応援協定
	土岐市	昭和58年1月31日	〃



《瀬戸市のロゴマーク・キャッチコピー》

■ロゴマークについて

瀬戸の魅力である「自然と共生しながら育まれてきたものづくり文化」「やきものづくりとも深く関わってきた里山」のイメージを伝えるコンテンツ(狛犬、椿、オオサンショウウオ、里山、瀬戸川、瀬戸焼、登り窯、窯垣)を六角形に配置しました。

■「いいもん せともん」について

「せともん」＝「瀬戸物」陶磁器の代名詞として全国的に定着している言葉。「もん」＝モノだけでなく、ヒト、コトなど、瀬戸の多様な物事を言い表しています。また、「もん」の響きが、「誇り」、「職人氣質」を感じさせ、瀬戸の気風を表しています。

令和5年版消防年報

編集 瀬戸市消防本部 予防課
発行 令和5年7月

〒489-0983 愛知県瀬戸市苗場町101

TEL 0561(85)0479(予防係)

FAX 0561(21)6605

E-mail shobohonbu@city.seto.lg.jp



《瀬戸市ホームページ》



《Instagram アカウント》